

令和5年度

広報活動に関するアンケート調査
結果報告書

令和6年5月

荒尾市総合政策課

1 調査の目的と概要	2
2 回答者属性	3
3 情報の取得方法	4
4 広報あらおについて	7
5 ホームページについて	19
6 LINEについて	25
7 これからの広報活動について	35

1 調査の目的と概要

(1) 調査の目的

市の広報活動に関する市民の満足度や、市民がどのような媒体を日常で使用しているかなどを把握することによって、今後さらに効果的で効率的な広報活動を展開するために実施した。なお、本アンケート調査は3回目の実施である。(第1回:令和元年度 第2回:令和3年度)

(2) 調査の概要

① 調査期間

令和6年3月18日(月)～令和6年4月25日(木)

② 調査対象及び調査方法

(ア) LINEによるアンケート調査

【対象】全荒尾市民

【方法】市公式LINEアカウントのアンケートフォームから回答

(イ) 郵送によるアンケート調査

【対象】令和6年3月1日現在で60歳以上の荒尾市民500人(住民基本台帳から無作為に抽出)

【方法】調査対象者に、アンケート用紙と返信用封筒を同封して郵送

(3) アンケート回収結果

① 回収件数

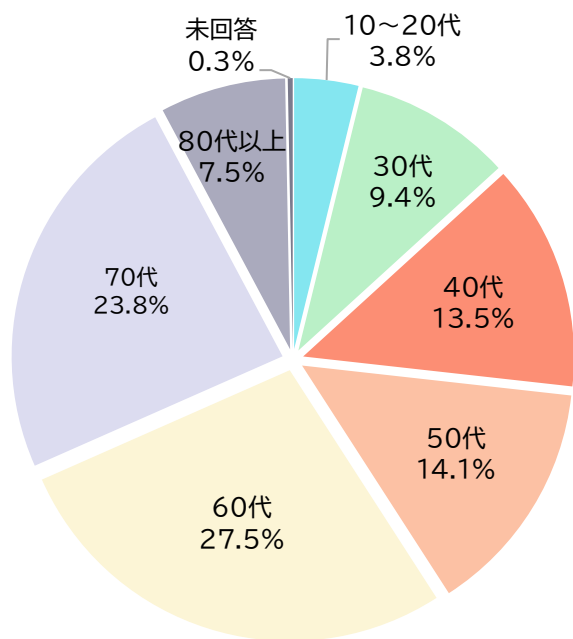
680件 【内訳】LINEによる回答471件 郵送による回答209件(回収率41.8%)

(4) 報告書の見方

- ・集計結果の数値を小数点以下第2位または第1位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・単一回答の項目における割合については、回答者数を分母にして集計している。
- ・複数回答の項目における割合については、回答数を分母にして集計している。
- ・回答対象外の設問への回答をしている場合は、集計の分母に含めていない。
- ・集計の分母は「n」で表記している。
- ・マイナスを表す記号として「▲」を使用している。
- ・前回調査からの割合の変化量(R5割合－R3割合)の単位を「pt(ポイント)」と表記している。

2 回答者属性

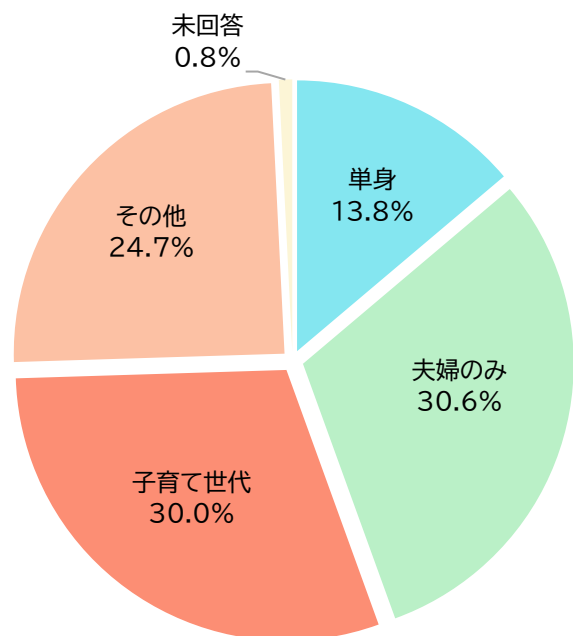
【問1】年代



(n=680)

年代	回答数	構成比
10~20代	26	3.8%
30代	64	9.4%
40代	92	13.5%
50代	96	14.1%
60代	187	27.5%
70代	162	23.8%
80代以上	51	7.5%
未回答	2	0.3%

【問1-2】世帯構成



(n=680)

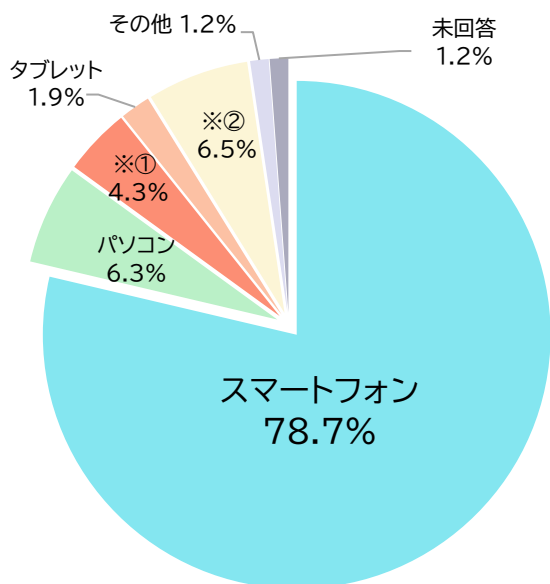
世帯構成	回答数	構成比
単身	91	13.8%
夫婦のみ	231	30.6%
子育て世代	168	30.0%
その他	180	24.7%
未回答	10	0.8%

3 情報の取得方法

【問2】 日常生活で情報を得るときにパソコンやスマートフォンなどの端末を使いますか。(最も使うもの1つ)

日常生活で情報を得際の端末は「スマートフォン」が最も多く、次いで「パソコン」となっている。前回調査との比較では、「スマートフォン」の割合が3.2pt減少している。年代別では、50代以下は「スマートフォン」の割合が9割以上となっている一方、60代以上は年齢層が高くなるにつれて「パソコン」や「端末を持っていない」の割合が増加している。

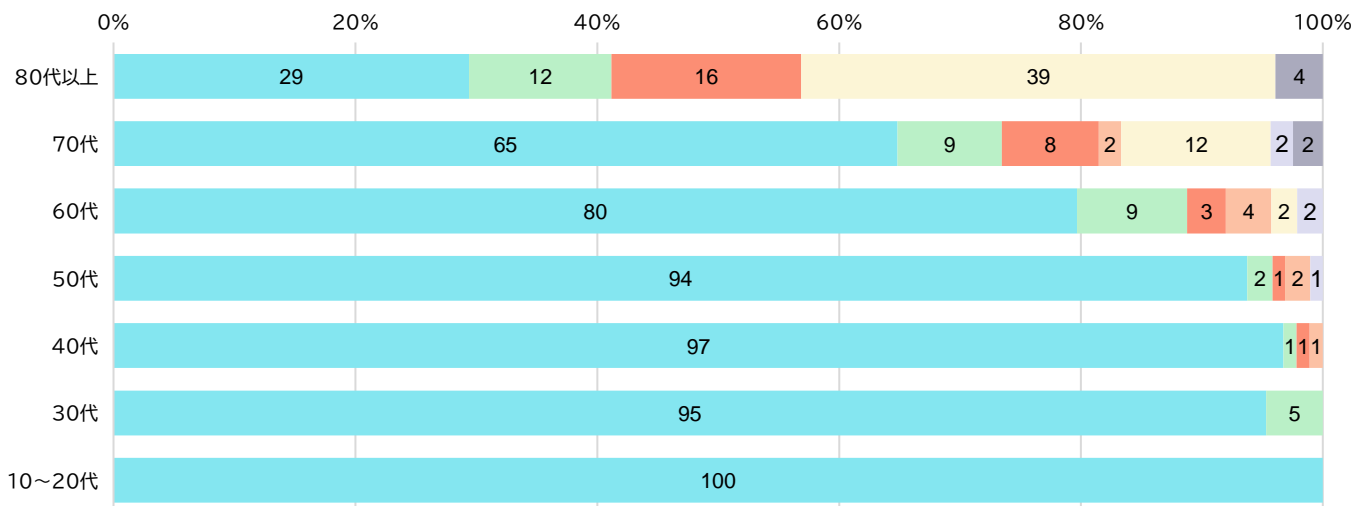
【全体】(n=680)



※① 端末を持っているが、情報を得るためには使っていない
 ※② 端末を持っていない

回答項目	R3調査からの変化量
スマートフォン	▲3.2pt
パソコン	+1.7pt
端末を持っているが、情報を得るためには使っていない	+1.6pt
タブレット	▲0.3pt
端末を持っていない	+2.0pt
その他	▲0.2pt

【年代別】(n=678)



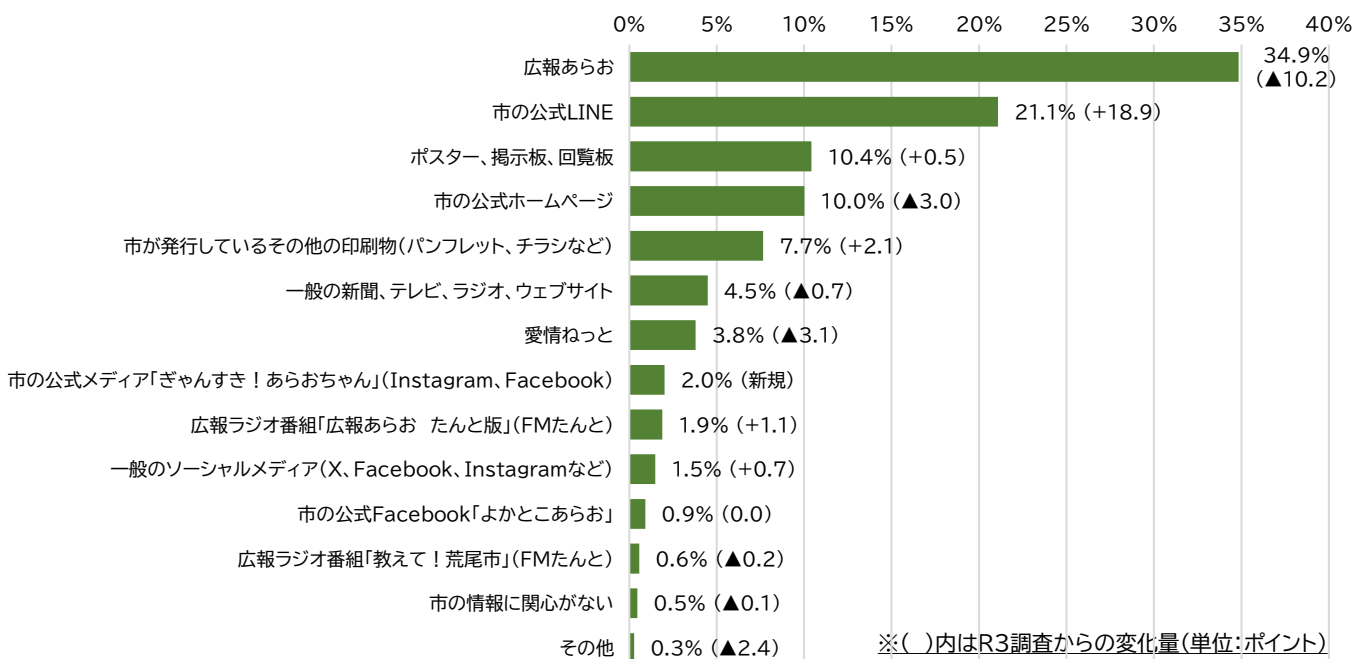
- スマートフォン
- パソコン
- 端末を持っているが、情報を得るためには使っていない
- タブレット
- 端末を持っていない
- その他
- 未回答

3 情報の取得方法

【問3】 荒尾市の施策や制度、イベントなどの情報を何から入手していますか。(主なもの3つ)

市の情報を得る媒体は「広報あらか」が最も多く、次いで「市の公式LINE」となっている。前回調査との比較では、「市の公式LINE」から情報を得ている人が+18.9ptと大幅に増加している一方で、「広報あらか」は10.2ptの減少、「市の公式ホームページ」は3ptの減少、「愛情ねっと」は3.1ptの減少となっている。

【全体】(n=1,736)

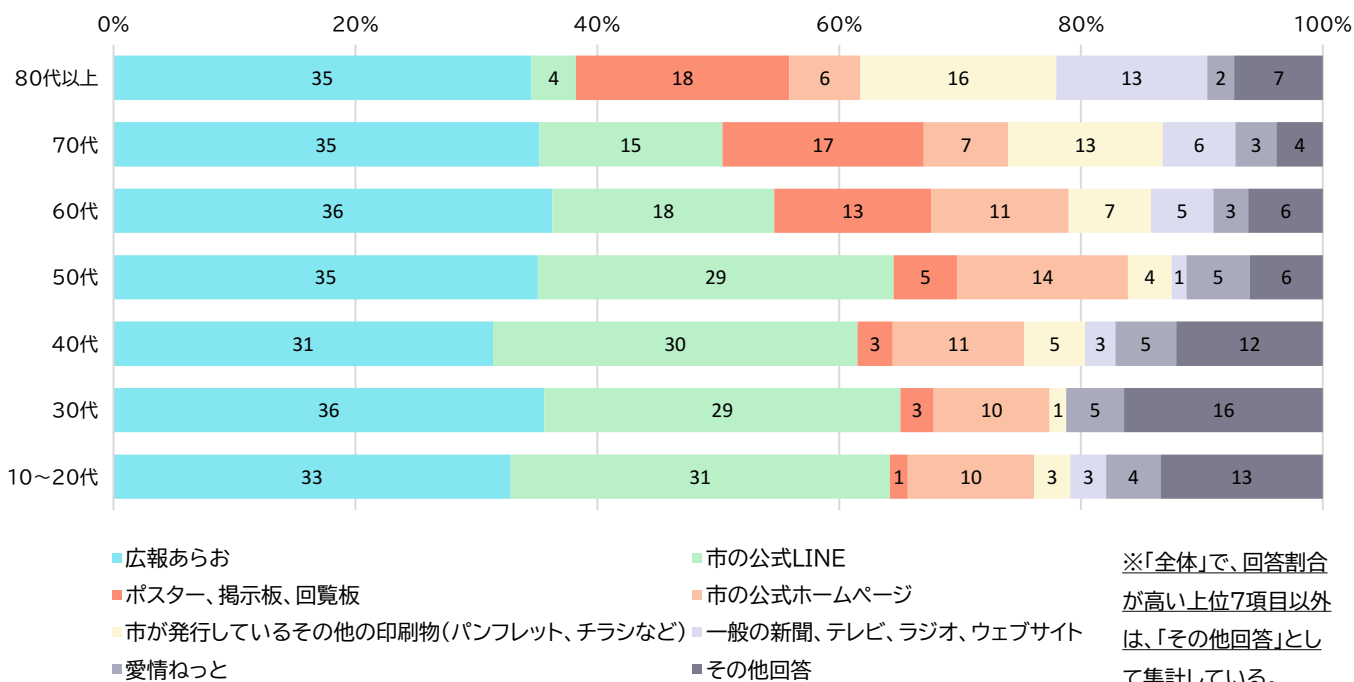


3 情報の取得方法

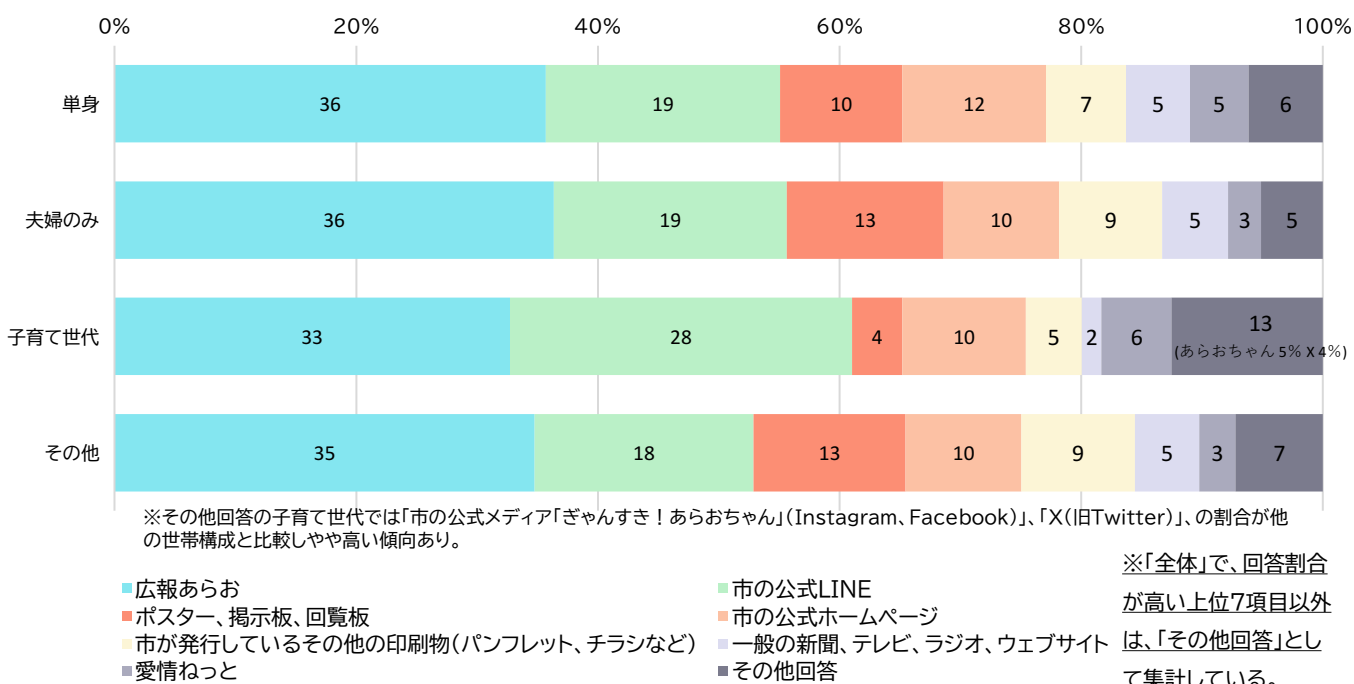
【問3】 つづき

年代別では、50代までは「市の公式LINE」から情報を得ている人が「広報あらか」と同程度の割合だが、60代から80代以上にかけて徐々に減少傾向にある。世帯構成別では、子育て世代は他の世帯構成と比較し、「市の公式LINE」から情報を得ている人が多く、逆に「ポスター、掲示版、回覧板」や「市が発行しているその他の印刷物」から情報を得ている人は少ない。

【年代別】(n=1,736)



【世帯構成別】(n=1,713)

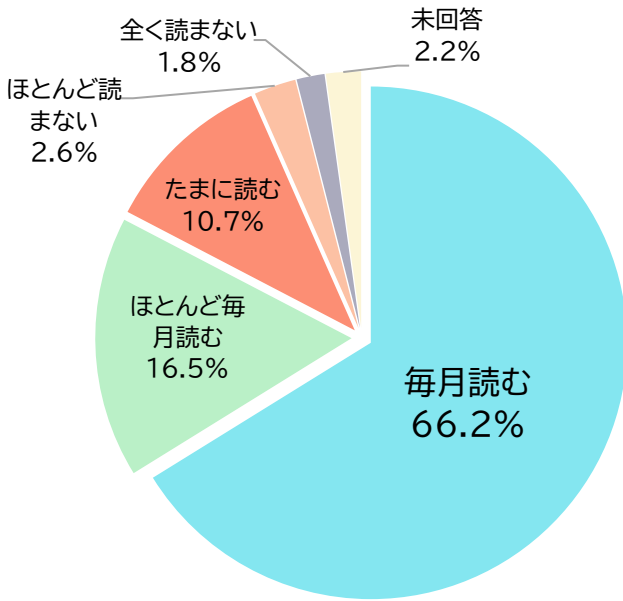


4 広報あらおについて

【問4】 毎月発行している「広報あらお」を読んでいますか。(1つ)

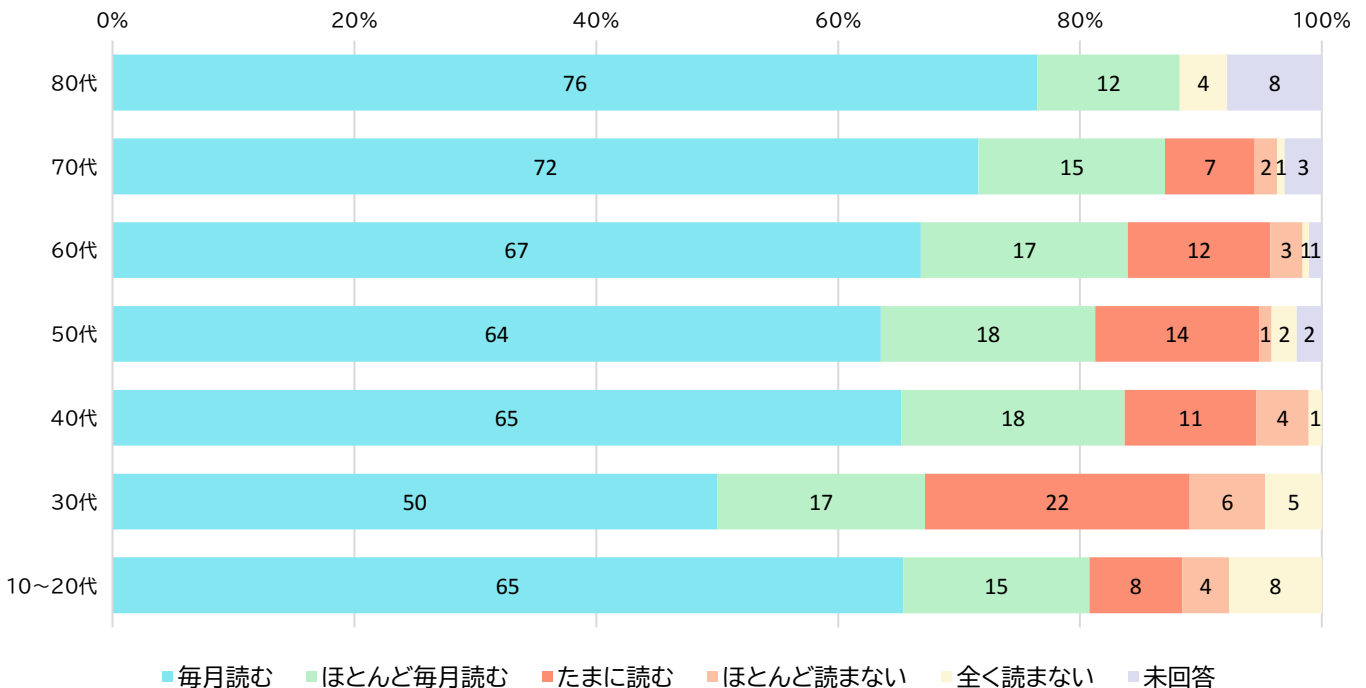
広報あらおを読む頻度は「毎月読む」が最も多く、次いで「ほとんど毎月読む」となっている。前回調査との比較では、「ほとんど毎月読む」が1.6pt増加し、「たまに読む」が1.6pt減少している。年代別では、「毎月読む」と「ほとんど毎月読む」を合わせた割合が30代では7割弱となっており、他の年代では8割～9程度となっている。

【全体】(n=680)



回答項目	R3調査からの変化量
毎月読む	▲0.2pt
ほとんど毎月読む	+1.6pt
たまに読む	▲1.6pt
ほとんど読まない	▲0.2pt
全く読まない	▲0.2pt

【年代別】(n=678)



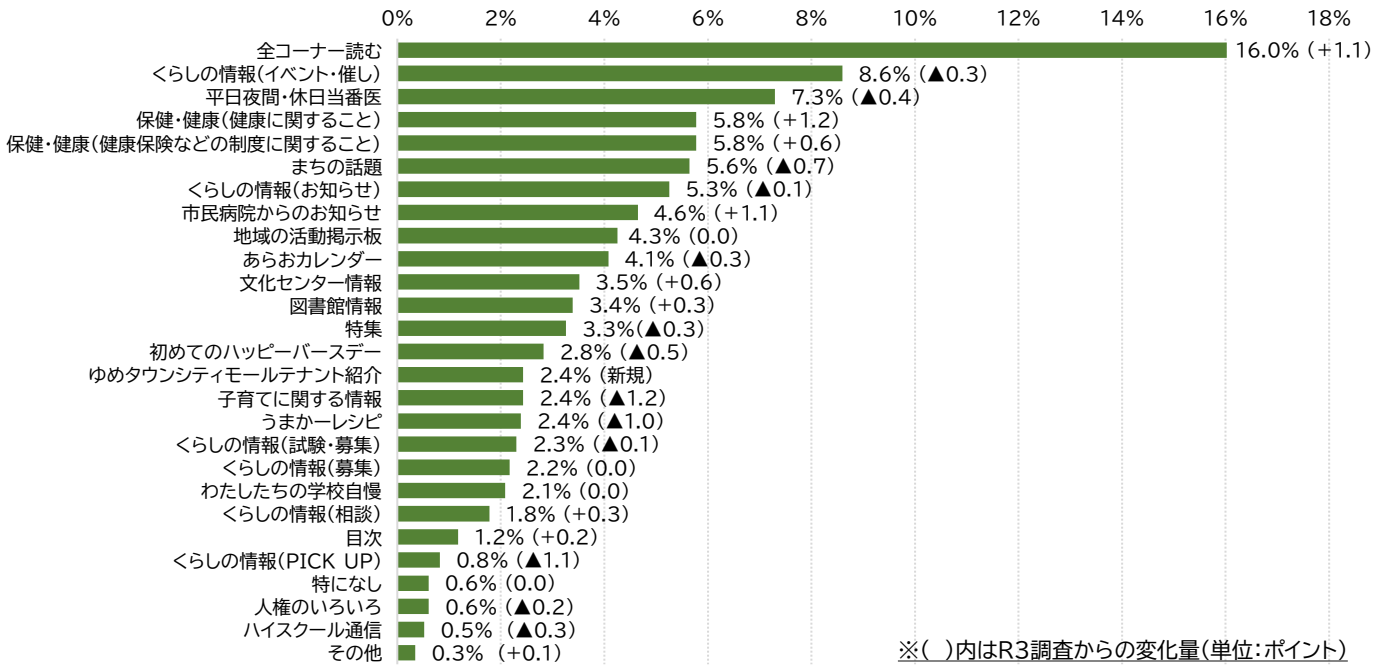
4 広報あらおについて

【問5】「広報あらお」でよく読むコーナーは何ですか。(あてはまるもの全て)

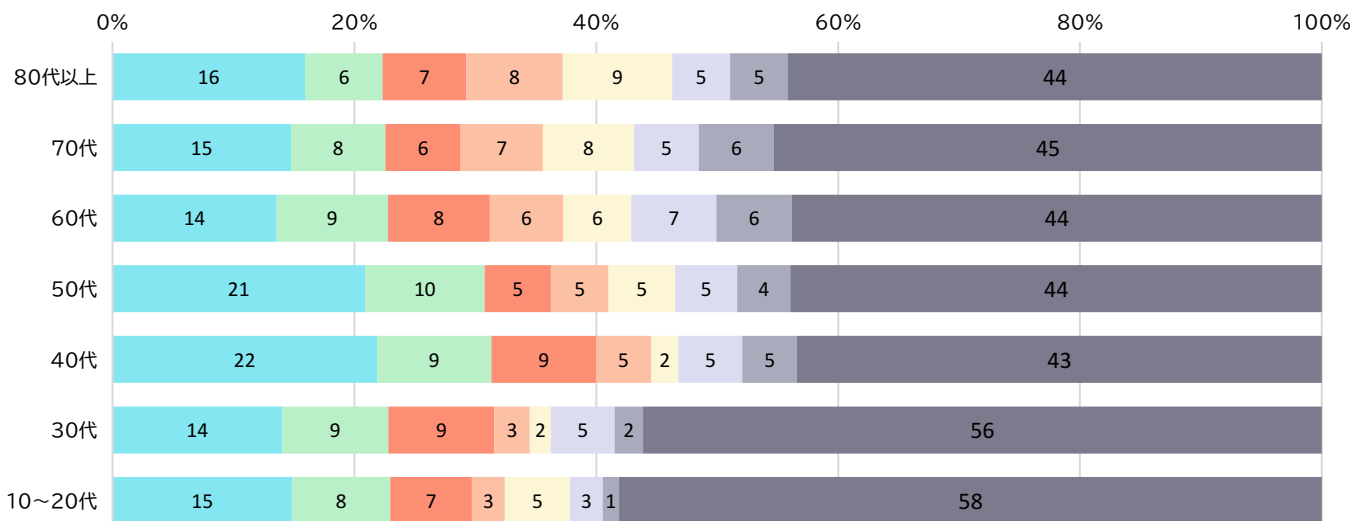
※【問4】で「毎月読む」、「ほとんど毎月読む」、「たまに読む」と回答した人

広報あらおでよく読むコーナーは「全コーナー読む」が最も多く、次いで「くらしの情報(イベント・催し)」となっている。前回調査との比較では、全体として大きな変動はない。年代別では、40代、50代の「全コーナー読む」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向にある。

【年代別】(n=2,303)



【世帯構成別】(n=2,303)



※その他回答の10~30代では「子育てに関する情報」、「図書館情報」、「ゆめタウンシティモールテナント紹介」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向あり。

- 全コーナー読む
- くらしの情報(イベント・催し)
- 平日夜間・休日当番医
- 保健・健康(健康に関すること)
- 保健・健康(健康保険などの制度に関すること)
- まちの話題
- くらしの情報(お知らせ)
- その他回答

※「全体」で、回答割合が高い上位7項目以外は、「その他回答」として集計している。

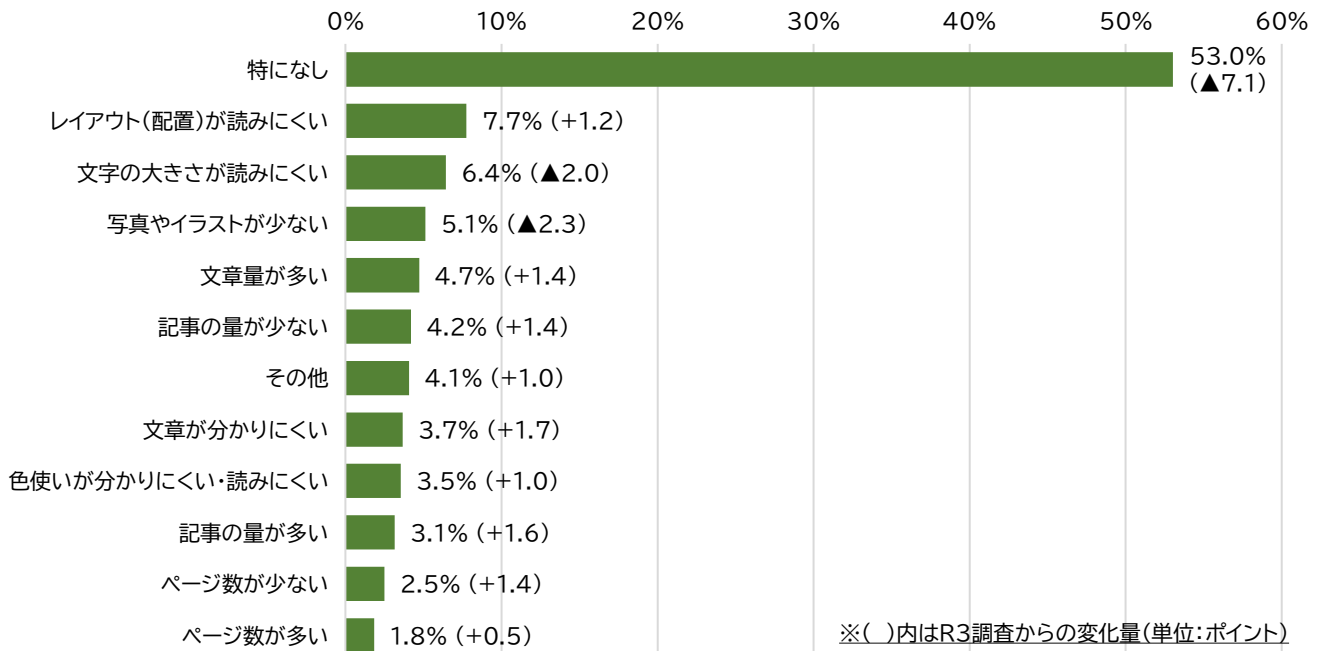
4 広報あらおについて

【問6】 「広報あらお」について、改善して欲しいと感じていることはありますか。
(あてはまるもの全て)

※【問4】で「毎月読む」、「ほとんど毎月読む」、「たまに読む」と回答した人

広報あらおについて、改善して欲しいと感じていることは「特になし」が最も多く、次いで「レイアウト(配置)が読みにくい」となっている。前回調査との比較では、「特になし」が7.1pt減少し、改善して欲しいと感じている割合が全体的にやや増加している。年代別では、50代以上で「レイアウト(配置)が読みにくい」が他の年代と比較しやや高い傾向にある。

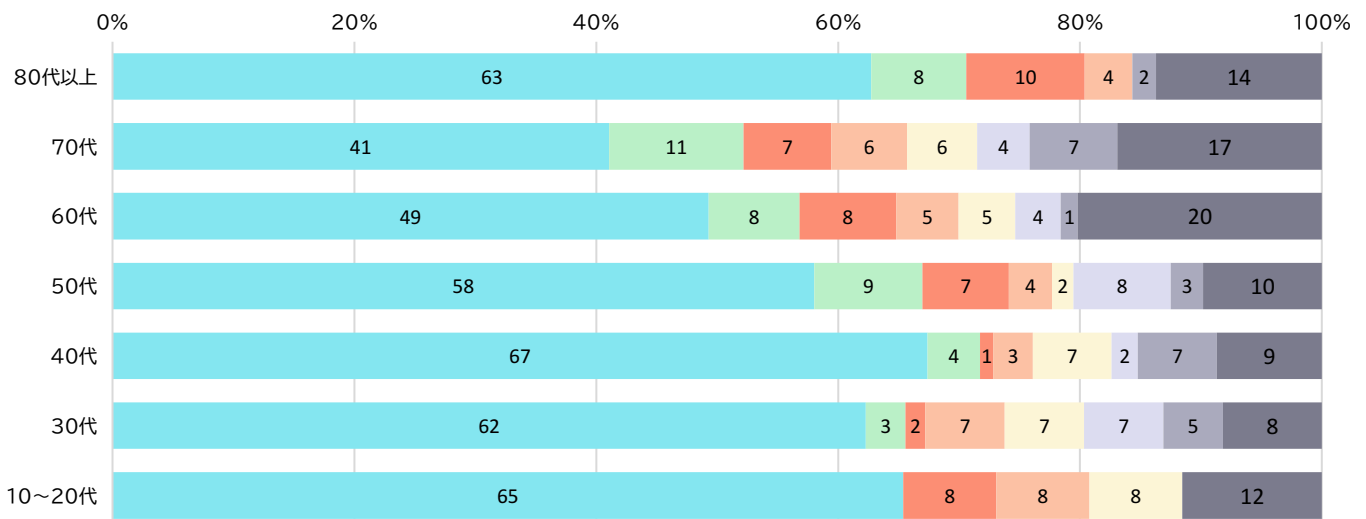
【年代別】(n=762)



※()内はR3調査からの変化量(単位:ポイント)

※その他…「紙媒体で読む家庭だけ配布する」、「カラー字や紙面に光が反射し読みにくい」など

【世帯構成別】(n=762)



- 特になし
- レイアウト(配置)が読みにくい
- 文字の大きさが読みにくい
- 写真やイラストが少ない
- 文章量が多い
- 記事の量が少ない
- その他
- その他回答

※「全体」で、回答割合が高い上位7項目以外は、「その他回答」として集計している。

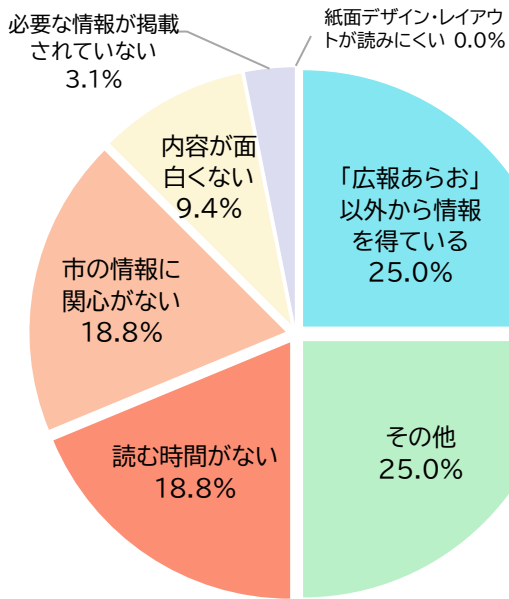
4 広報あらおについて

【問7】 「広報あらお」を読まない理由は何ですか。(1つ)

※【問4】で「ほとんど読まない」、「全く読まない」と回答した人のみ

広報あらおを読まない理由は「広報あらお以外から情報を得ている」が最も多く、次いで「その他」となっている。前回調査との比較では、「その他」が8.7pt、「読む時間がない」が2.5pt増加し、他はやや減少している。

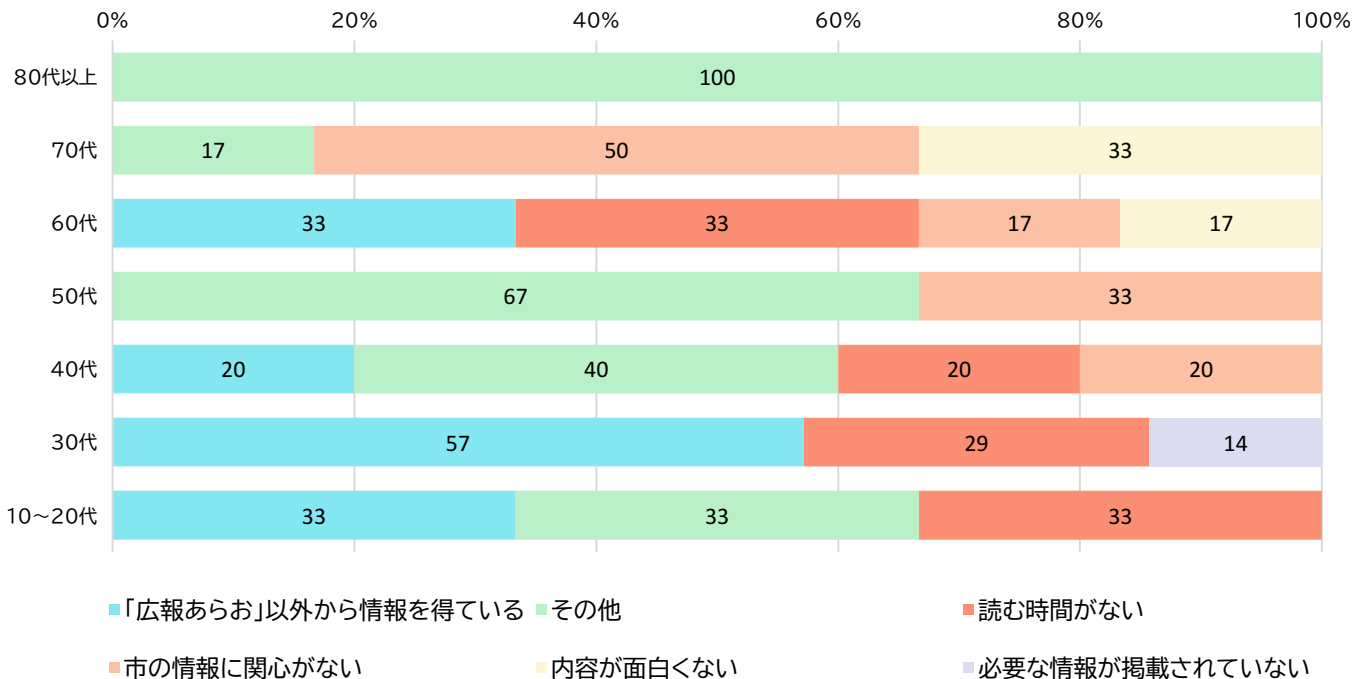
【全体】(n=32)



※その他…「ネットや新聞等で情報を得ているため」、「広報が届いていない」など

回答項目	R3調査からの変化量
「広報あらお」以外から情報を得ている	▲2.9pt
その他	+8.7pt
読む時間がない	+2.5pt
市の情報に関心がない	▲2.1pt
内容が面白くない	▲2.2pt
必要な情報が掲載されていない	▲3.9pt
紙面デザイン・レイアウトが読みにくい	0.0pt

【年代別】(n=32)



4 広報あらおについて

【問7-2】 どのような情報が掲載されていたら読みたいと思いますか。(自由記述)

※【問7】で「必要な情報が掲載されていない」と回答した人のみ

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

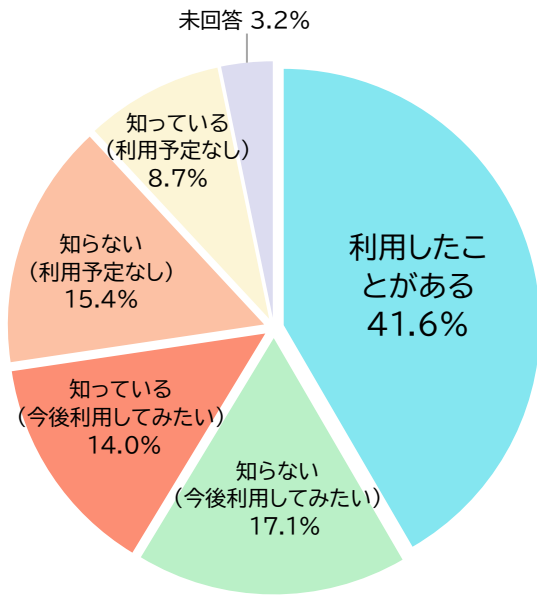
- 文化会館や市内のイベント情報です。夫婦2人ぐらしなのでイベント情報が入りにくい。
- 特定の状況、情報は必要ないと思う。市民全体に共通の情報が必要と思う。
- 街グルメの紹介
- 荒尾市の課題と対策について
- シニアの求人やショッピングのイベントなど参加出来る情報が欲しい。

4 広報あらおについて

【問8】 広報あらおを市ホームページ、LINE、スマートフォンアプリ「マチイロ」、Webサイト「マイ広報紙」を利用して読むことができることを知っていますか。(1つ)

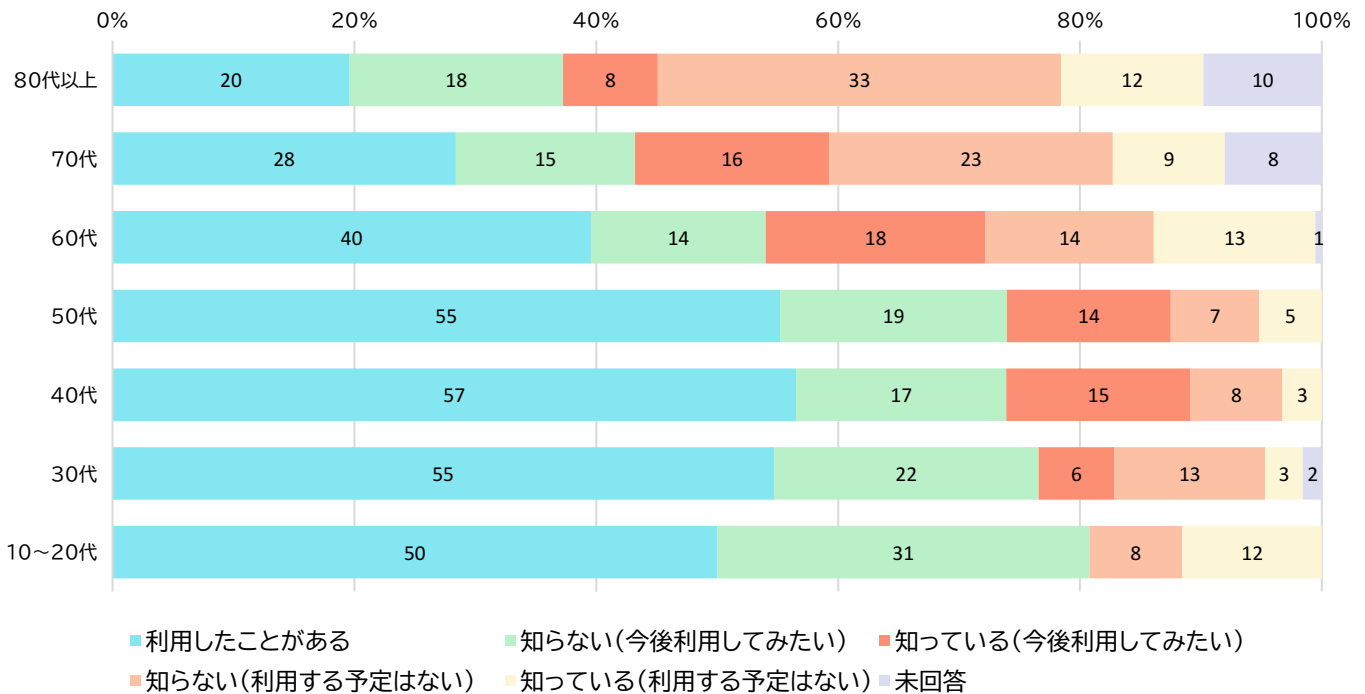
広報あらおを紙媒体以外でも読めることについては「利用したことがある」が最も多く、次いで「知らない(今後利用してみたい)」となっている。前回調査との比較では、「利用したことがある」が5pt増加している。年代別では、50代以下は「利用したことがある」の割合が他の年代と比較し高く、認知を問わず「今後利用してみたい」の割合も高い傾向にある。

【全体】(n=680)



回答項目	R3調査からの変化量
利用したことがある	+5.0pt
知らない(今後利用してみたい)	▲5.9pt
知っている(今後利用してみたい)	▲2.9pt
知らない(利用予定なし)	+3.7pt
知っている(利用予定なし)	▲0.3pt

【年代別】(n=678)



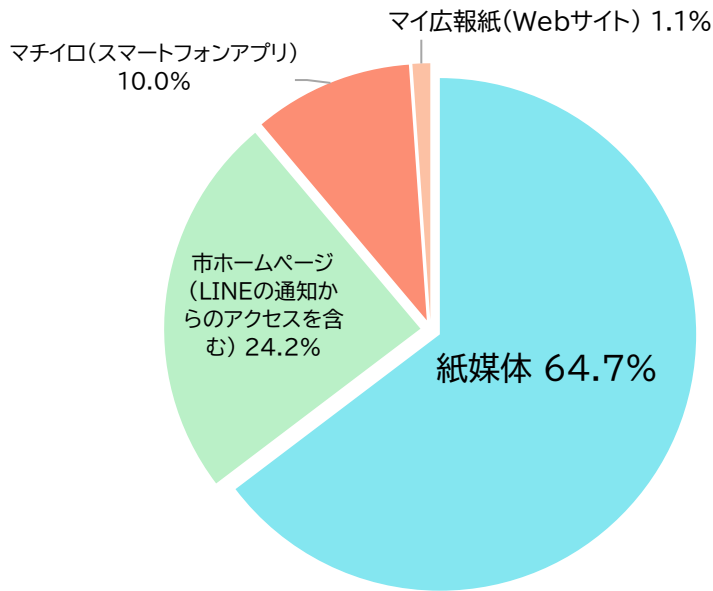
4 広報あらおについて

【問9】 普段、どの媒体で広報あらおを読んでいますか。(最も利用頻度の高いもの1つ) ※新規設問

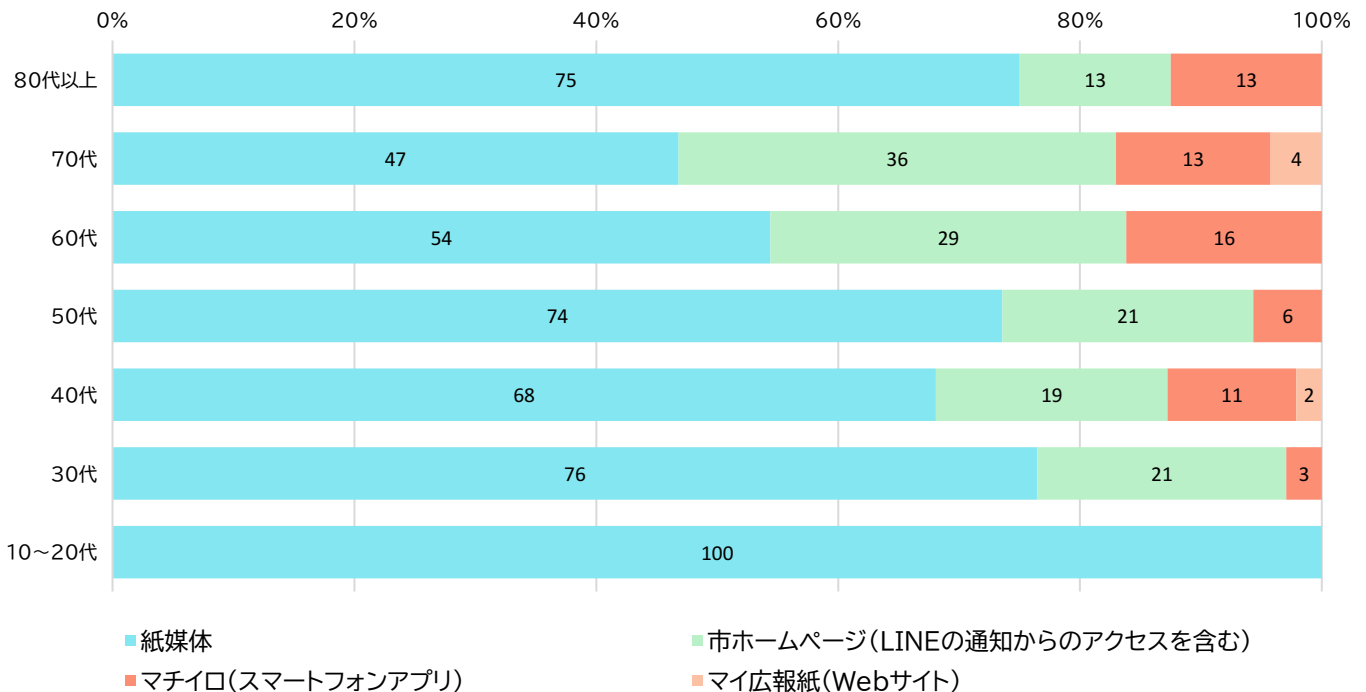
※【問8】で「利用したことがある」と回答した人のみ

普段、広報あらおを読む媒体としては、「紙媒体」が最も多く、次いで「市ホームページ(LINEの通知からのアクセスを含む)」となっている。また、紙以外の媒体を利用したことがある人のうち、約35%が広報紙を普段、紙以外の媒体で読んでいる。年代別では、60代、70代の「市ホームページ」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向にある。

【全体】(n=269)



【年代別】(n=269)

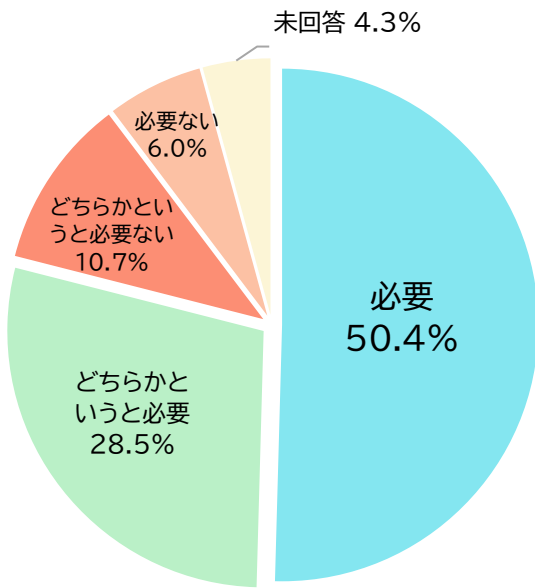


4 広報あらおについて

【問10】【問8、9】をふまえて、広報紙の各世帯への配送は今後も必要だと思いますか。(1つ) ※自身への送付が「必要」か「必要ない」かで回答

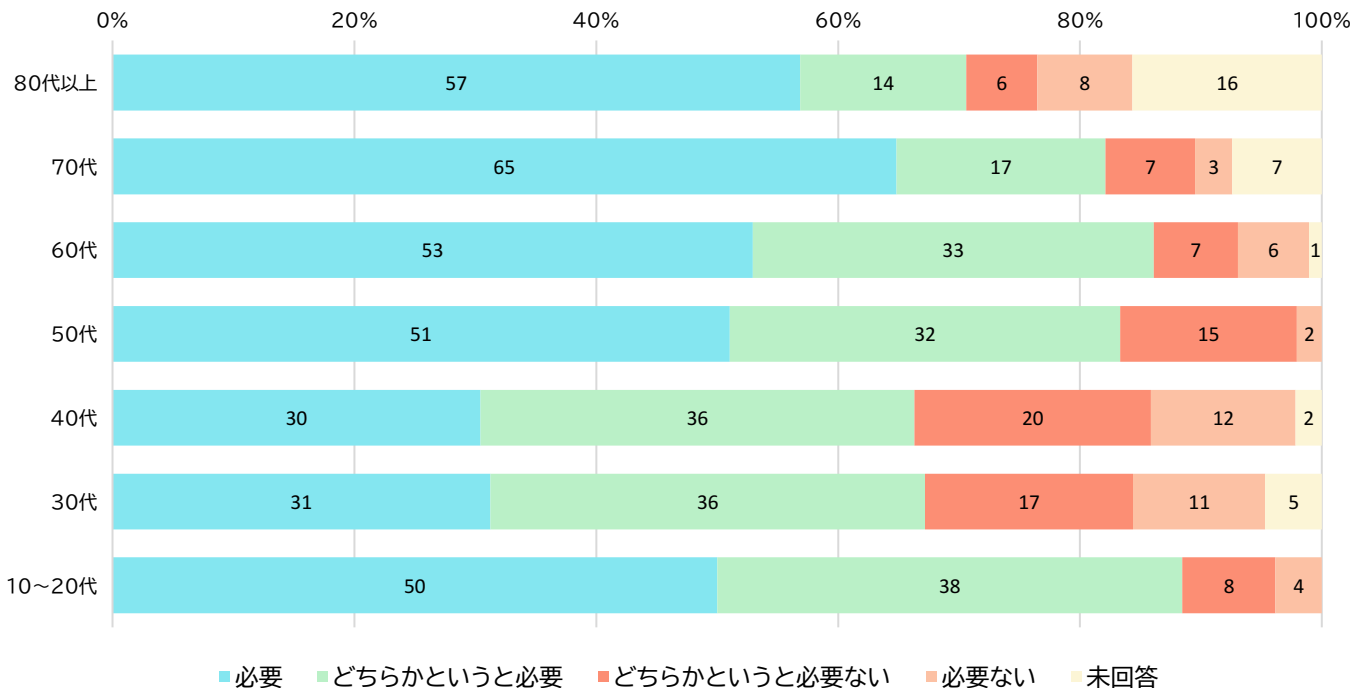
今後の広報あらおの各世帯への配送については「必要」が最も多く、次いで「どちらかという必要」となっている。前回調査との比較では、「どちらかという必要」が5.3pt減少し、その他はやや増加となっている。年代別では、30代、40代は「どちらかという必要ない」、「必要ない」が3割程度を占めており、他の年代と比較しやや高い傾向にある。

【全体】(n=680)



回答項目	R3調査からの変化量
必要	+1.9pt
どちらかという必要	▲5.3pt
どちらかという必要ない	+1.1pt
必要ない	+1.1pt

【年代別】(n=678)



4 広報あらおについて

【問11】広報あらおに関する意見・要望（自由記述）

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

記事の内容について

- ・ 介護保険、医療保険など当事者となる時は高齢なので手続方法についてもう少し分かりやすく作ってほしい。窓口も若い人なので当事者の立場に立っていないことが多い。全て申請しなければならないのでその事すら分からない人もいる。
- ・ 市長のあいさつなどの紙面では良いことばかり市長は語っているが、市民の声が反映されていない。市民の声をもっと大切に聞いて住みよい荒尾にして欲しい。
- ・ 年齢がいくと理解するのがむずかしい。
- ・ とても大切に思っています。よくわかりやすく行事も内容もとても大事に思い嬉しく見えています。
- ・ 記入されている事がわかりやすくとても役に立っています。
- ・ ○○しました情報（訪問がありました）、○○です。例：選挙などの情報を分けて編集すると読みやすいのでは？（に行きましょう、ゴミ分別が始まりましたなど）
- ・ こども向け、イベント、塾、習い事、市職員が実際に参加しているボランティアの紹介を2ヶ月前に情報を記載
- ・ 相談窓口に行くのが難しく相談、質問コーナーを設けて欲しい。
- ・ 荒尾市の病院・介護施設・幼稚園などの施設紹介があると良いと思います。
- ・ 荒尾のグルメのお店なども紹介してもらえたら良いと思います。荒尾市内でも知らないお店がまだまだたくさんあります。
- ・ 個人的な趣味の紹介（釣り 盆栽 写真 水彩画 カラー魚拓など）
- ・ 市政への意見のページ
- ・ 毎月色々な情報を書いて下さりありがとうございます。
- ・ ゴミの分別が未だわかってない方が多いようです。小型家電の説明や布団などの出し方など市民の方がわかりやすく再度のせてほしい。
- ・ 高齢者の情報をもっと拡大して欲しい。
- ・ これからも荒尾の魅力をどんどん発信してください。
- ・ 荒尾市以外の記事が多すぎる。それから広報以外のチラシが多すぎる
- ・ イベントの申込み
- ・ 各学校のコーナーはあるが保育園幼稚園のコーナーがないのでほしい。
- ・ 色々なイベントの開催前案内が見たい。イベント開催後の記事を見た時に参加したかったなあと思うことが多い。
- ・ 単身世帯、高齢者じゃない人向けの情報増やしてほしい。

4 広報あらおについて

【問11】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- ・ 休日当番医のページに何月かを記入してほしい。
- ・ 求人があればもっと載せてほしいなと思います。

視覚的な要素について

- ・ 紙には紙の良さがある。見やすくなった。
- ・ 写真が明るくて見易い、目にとまりやすくなりました。
- ・ 文字数や記事が多いと読む気にならないことがあります。できるだけ簡潔な方がいい。
- ・ 高齢者になるとスマホ使用が出来なくなり広報あらおがあった方が良い。広報の情報を簡潔にする。
- ・ 縦書き 横書きが混じっている上に、読む順序が統一されていないので読みにくい。(だけど、ずいぶん慣れましたが)
- ・ カラフルになって読みやすい。毎月楽しみです。
- ・ 市政だよりのレイアウトや文章が読みづらい。
- ・ 表紙の題字の習字はカラーでなく、黒にしてほしいです。
- ・ 近年、すごくカラフルになってとても見やすいなあとと思ってました。
- ・ 沢山の情報を発信したいと言う思い、すごく感じます始めの頃は、ページ多すぎ！と思いましたが、今は慣れました。
- ・ もっとレイアウトを変えて欲しい。スマホ世代では無い後期高齢者の方には紙の媒体は必須だと思う。
- ・ 特にありませんが色使いをもう少し考察して欲しいですが。
- ・ 以前に比べてとても見やすくなって、楽しい紙面になったと思います。祖父祖母も、しっかり読んで情報もらっています。
- ・ 文字が減ったのか、リニューアルして見やすくなりました 今後も頑張ってください。

現在の広報あらおの配送について

- ・ 広報あらおの配布方法が、行政協力員を通じた方法で良いかわからない。最良な方法を考えてほしい。
- ・ 町内会を通して配布するのはやめてほしい。
- ・ 班長が配布しているのではなく日にちが早く読めとてもよい。
- ・ 班長が配布するのが大変。配布方法を改善策無いのでしょうか。
- ・ 設置場所を増やしてほしい。

4 広報あらおについて

【問11】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- どうしたら届くのでしょうか？
- 地区により手元に届くまでに日差があるように思います。難しいとは思いますが例えば月の何日に届くようにとどこの地区でも統一してもらえるといいと思います。
- 隣組をぬけても、配布はしてほしい。
- 班長が一軒ずつ配るといふ配布方法をどうにかしてほしい。
- 町内会に加入しているがため、加入していない人まで配る負担が理不尽、紙媒体は必要な人の申告制にして欲しい。
- 当番で広報の配布は、大変です。情報は、LINE、メール等にしましょう。
- 町内会の班長さんが配っていますがみんな年になりました。以前は市から班長手当てが出ていました。現在は町内会からだしています。

広報あらおの媒体・今後の配送について

- 年配の方にとっては、紙配布が情報を知りやすいかなと思います。
- アナログ世代なので広報あらおは必要。続けてほしい。
- 高齢の方は電子媒体を持たない人もいるので、紙媒体も必要だと思う。
- 特に年齢が高い人は携帯電話やパソコンを使えない人が多いので文字を大きく配布は継続を希望
- 必要だが各世帯への配布が問題になってくる。老人世帯が多くなるので。
- 高齢者にとって広報あらおは唯一市の情報源となる人が多くおられると思います。
- このアンケートを見ると広報あらおを廃止されたい様に見えますが、反対です。
- 我が町内はほとんど高齢者なので、紙媒体での通知は必要 プラゴミの分別が最近行われましたが、他の市町村や他の町内会での有効な取組みや先進的な取組み等紹介していただければ助かります。
- いつも広報を拝見しております。今はネットが普及し、紙媒体での発行を控える傾向にありますが、高齢者の方々などは紙媒体での広報が必要かと思えます。是非これからも楽しくいろんな情報が詳しく分かる広報の作成を願っています。
- デジタルデバイトの人がいるので紙ベースの情報が必要と思う
- 問10については、希望する場合のみ配送するという形もあり得るかと思えます。
- 必要な世帯と必要でない世帯で配るか配らないか分けたいと思います。

4 広報あらおについて

【問11】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

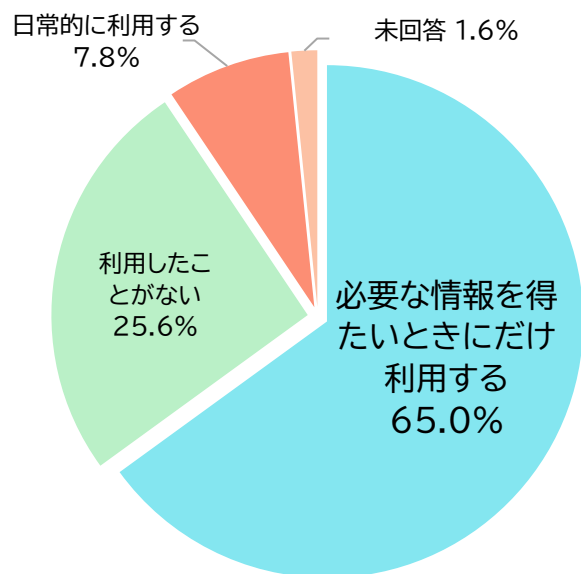
- ・ スマートフォンの利用者は増えたものの、高齢者は紙面で見ることが習慣づいており、スマートフォンでホームページを開くなどの操作は困難な為、広報誌は必須である。スマートフォンでできるので要らない人は、配布しない等選べると良い。スマートフォンのみ読者には 何かのメリットが市からあればいいと思う。その分広報誌作成費用の削減になればいい
- ・ 必要な世帯だけの配布でよいと思う。アプリ登録して広報不要で登録するとゴミ袋を配布して登録を促す。
- ・ 必要な世帯のみの紙媒体で配布し、資源の無駄にならないようにした方が良くと思う。
- ・ 登録制にして、必要な人にだけ配布してはどうでしょうか。
- ・ もう紙の媒体はやめて、極力デジタルに推進するようにしたほうが良いと思う。何か電子媒体で受け取るメリットがあれば良いのでは？プレゼントや減税など。スマートシティーを目指すのであればそういうところもスマートにしましょう!!
- ・ もう、発行する必要は、無いんじゃない
- ・ 広報の紙配布は、環境やコストを考えて廃止し、電子で発行するべき
- ・ 広報紙は今後、ネットに変わってもいいと思う
- ・ 紙媒体は1日で捨てるのでいらない
- ・ 要らないから廃止してください
- ・ 市のホームページに統合していただきたい。
- ・ ゴミになるだけなので、環境保全や財政的にデジタルコンテンツで良いと思う。紙面希望の世帯に紙面で送れば良いと思う。

5 ホームページについて

【問12】 荒尾市のホームページを利用したことがありますか。(1つ)

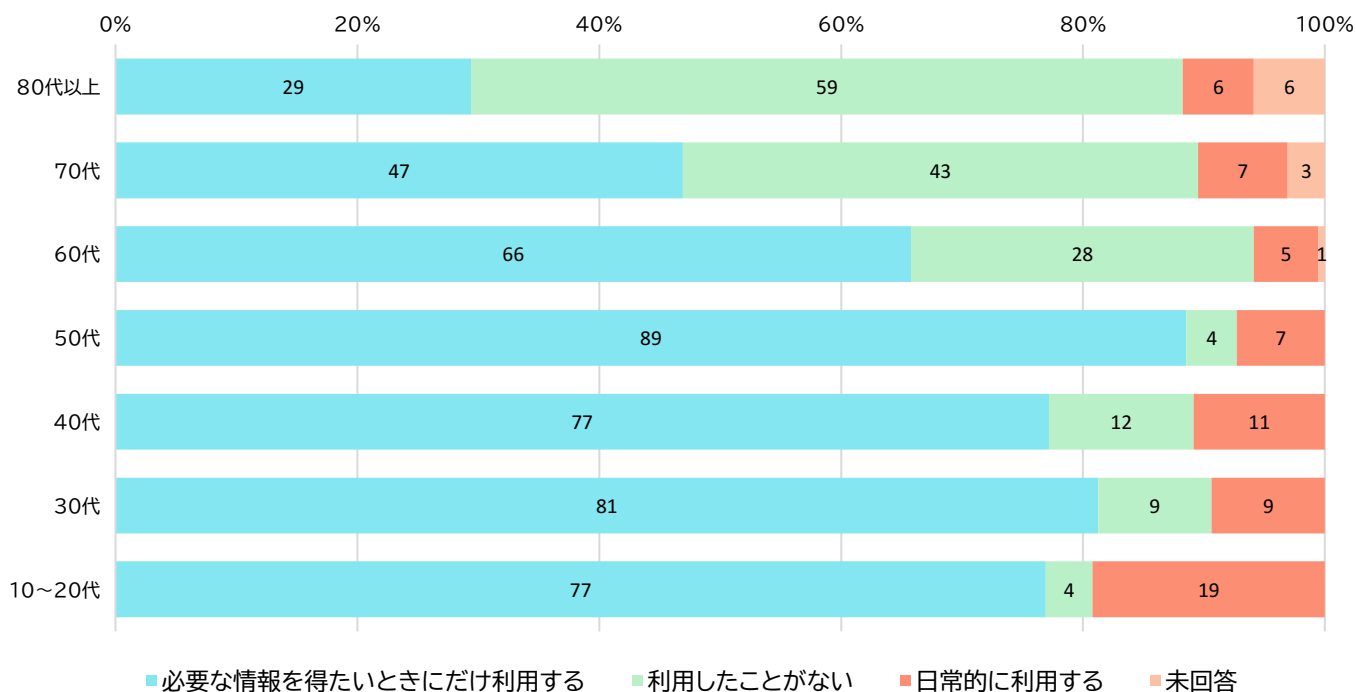
市のホームページの利用については「必要な情報を得たいときにだけ利用する」が最も多く、次いで「利用したことがない」となっている。前回調査との比較では、「利用したことがない」が7.1pt増加し、他はやや減少している。年代別では、60代以上の「利用したことがない」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向にある。

【全体】(n=680)



回答項目	R3調査からの変化量
必要な情報を得たいときにだけ利用する	▲4.3pt
利用したことがない	+7.1pt
日常的に利用する	▲2.4pt

【年代別】(n=678)



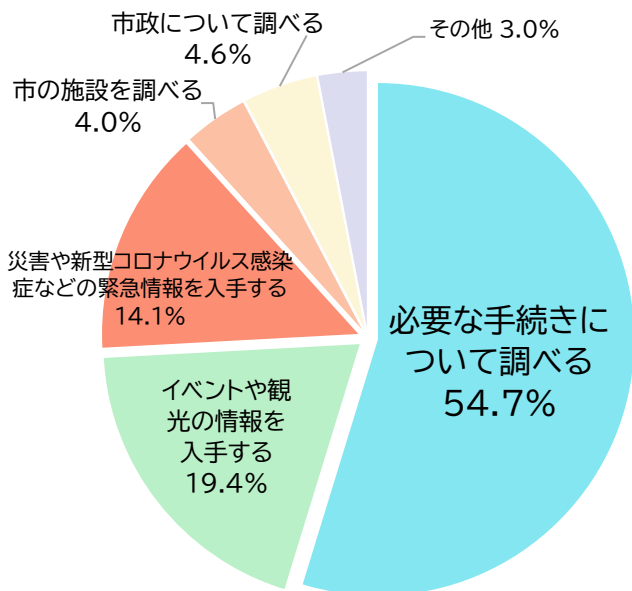
5 ホームページについて

【問13】市のホームページを利用する主な目的は何ですか。(1つ)

※【問12】で「日常的に利用する」、「必要な情報を得たいときにだけ利用する」と回答した人のみ

市のホームページを利用する主な目的は「必要な手続きについて調べる」が最も多く、次いで「イベントや観光情報を入手する」となっている。前回調査との比較では、「災害や新型コロナウイルス感染症などの緊急情報を入手する」が13.5pt減少している。年代別では、60代以上は「緊急情報を入手する」の割合が他の年代と比較し高い傾向にある。

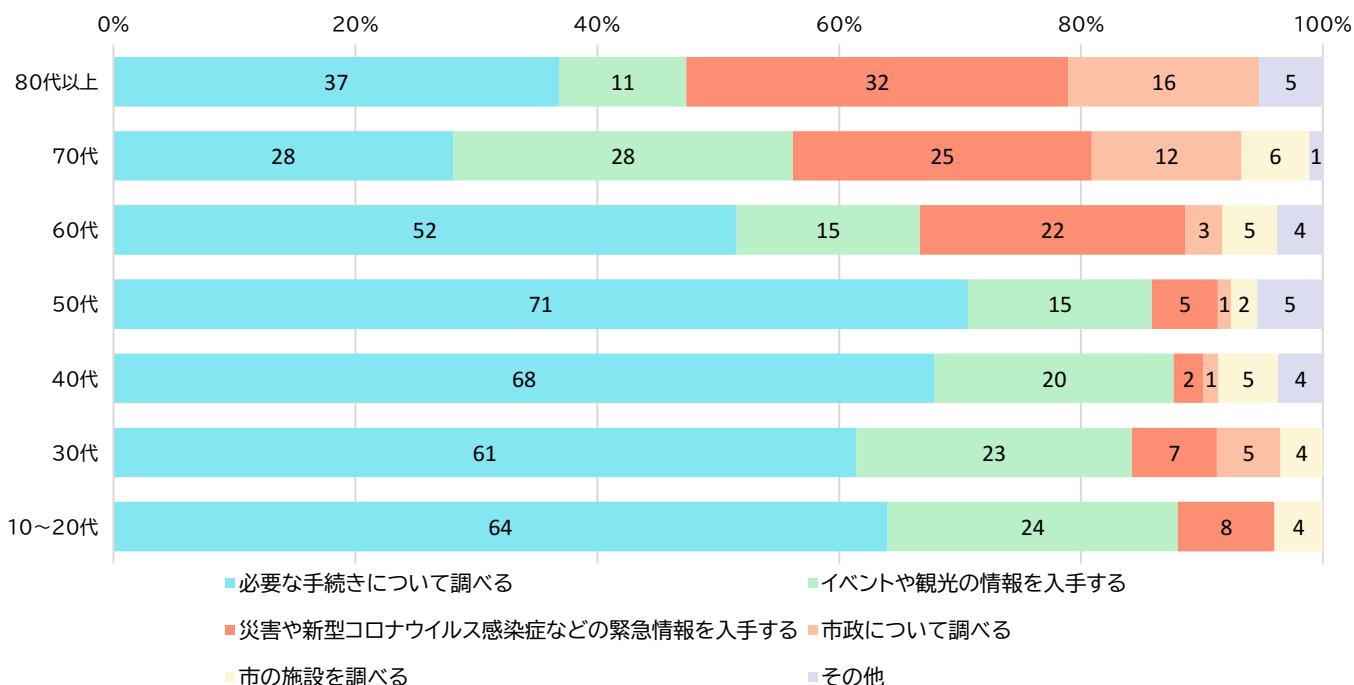
【全体】(n=495)



※その他…「ごみ・リサイクル」、「求人情報」など

回答項目	R3調査からの変化量
必要な手続きについて調べる	+3.5pt
イベントや観光の情報を入手する	+6.5pt
災害や新型コロナウイルス感染症などの緊急情報を入手する	▲13.5pt
市の施設を調べる	▲0.6pt
市政について調べる	+1.8pt
その他	+2.1pt

【年代別】(n=495)



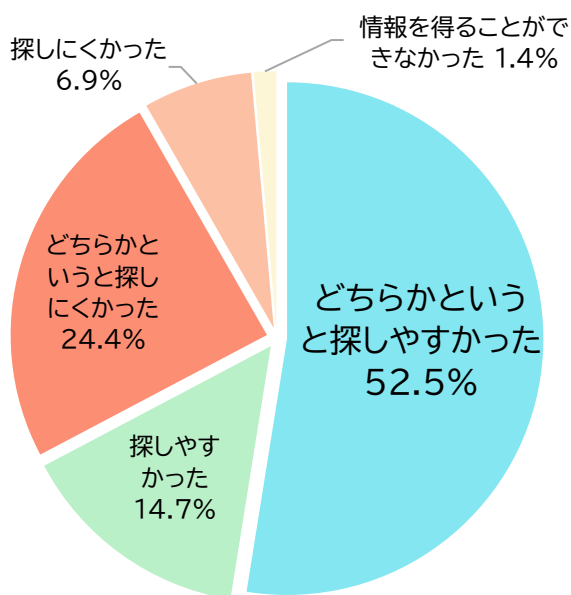
5 ホームページについて

【問14】市のホームページであなたが必要な情報は探しやすいですか。(1つ)

※【問12】で「日常的に利用する」、「必要な情報を得たいときにだけ利用する」と回答した人のみ

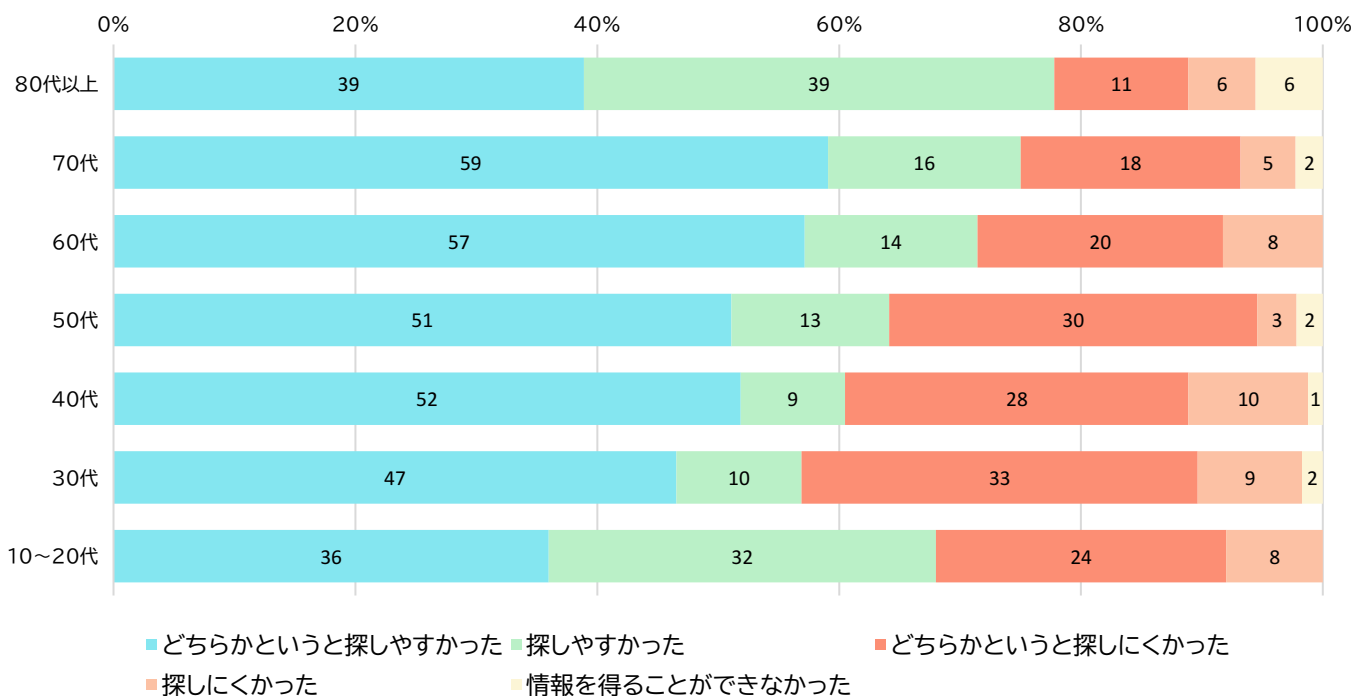
市のホームページでの情報の探しやすさは「どちらかというと探しやすい」が最も多く、次いで「探しやすい」となっている。前回調査との比較では、「どちらかというと探しにくかった」が7.1pt増加し、「探しやすい」が7.3pt減少している。年代別では、年代が若くなるにつれ、情報が探しにくいという割合が高くなっている傾向にある。

【全体】(n=495)



回答項目	R3調査からの変化量
どちらかというと探しやすい	▲1.2pt
探しやすい	▲7.3pt
どちらかというと探しにくかった	+7.1pt
探しにくかった	+1.0pt
情報を得ることができなかった	+0.4pt

【年代別】(n=495)



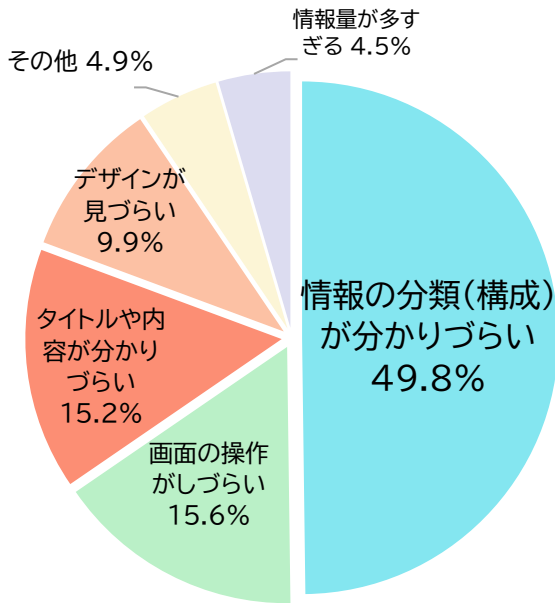
5 ホームページについて

【問15】市のホームページで情報を探しにくかった理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

※【問14】で「どちらかというとなりにくかった」、「探しにくかった」、「情報を得ることができなかった」と回答した人のみ

市のホームページで情報を探しにくかった理由は「情報の分類(構成)が分かりづらい」が最も多く、次いで「画面の操作がしづらい」となっている。前回調査との比較では、「情報の分類(構成)が分かりづらい」が減少している一方、その他の項目の割合が全体的に増加している。

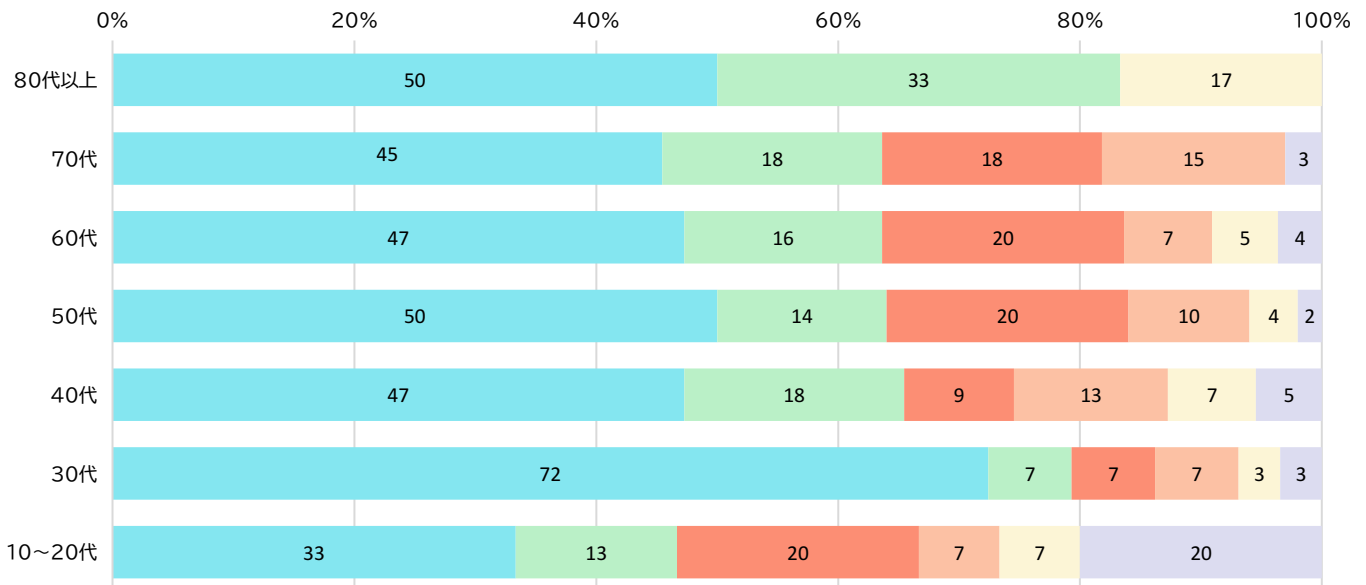
【全体】(n=243)



※その他…「サイト内検索から目的の記事にたどり着きにくい」、「古い情報が載っているため」など

回答項目	R3調査からの変化量
情報の分類(構成)が分かりづらい	▲20.5pt
画面の操作がしづらい	+9.6pt
タイトルや内容が分かりづらい	+5.3pt
デザインが見づらい	+5.5pt
情報量が多すぎる	▲1.0pt
その他	+1.1pt

【年代別】(n=243)



■情報の分類(構成)が分かりづらい ■画面の操作がしづらい ■タイトルや内容が分かりづらい
 ■デザインが見づらい ■その他 ■情報量が多すぎる

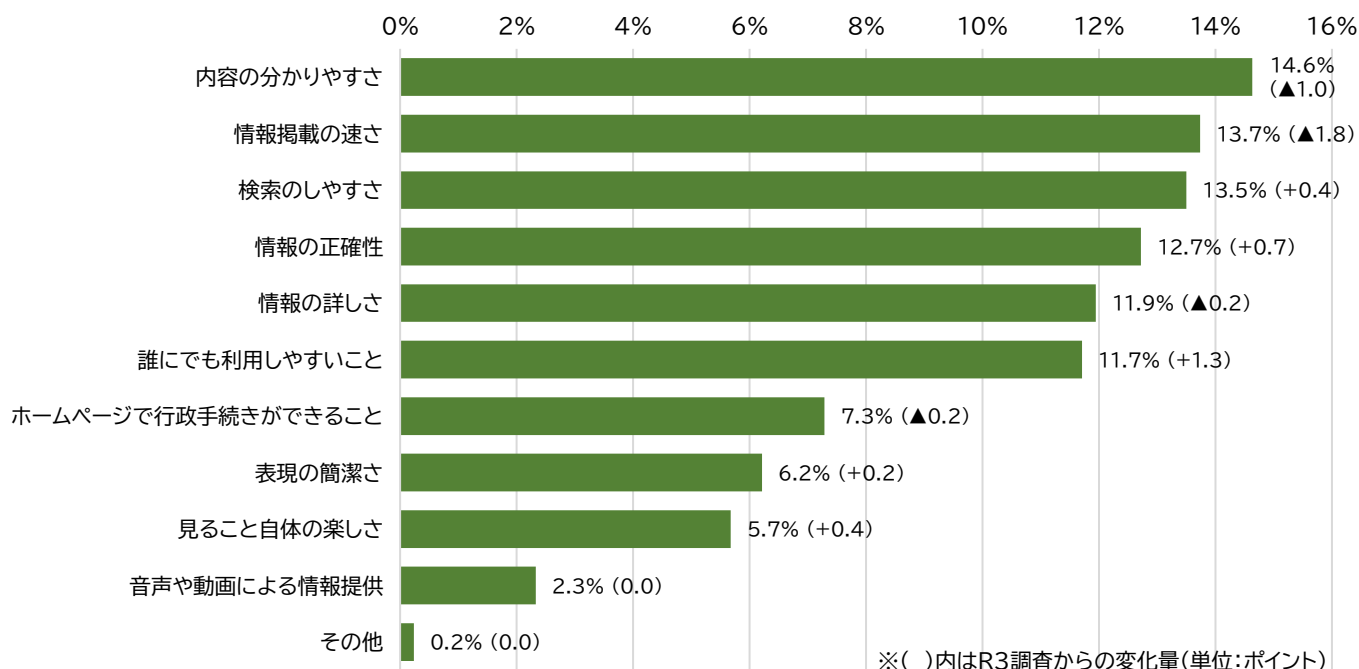
5 ホームページについて

【問16】今後、市のホームページに期待することは何ですか。(あてはまるもの全て)

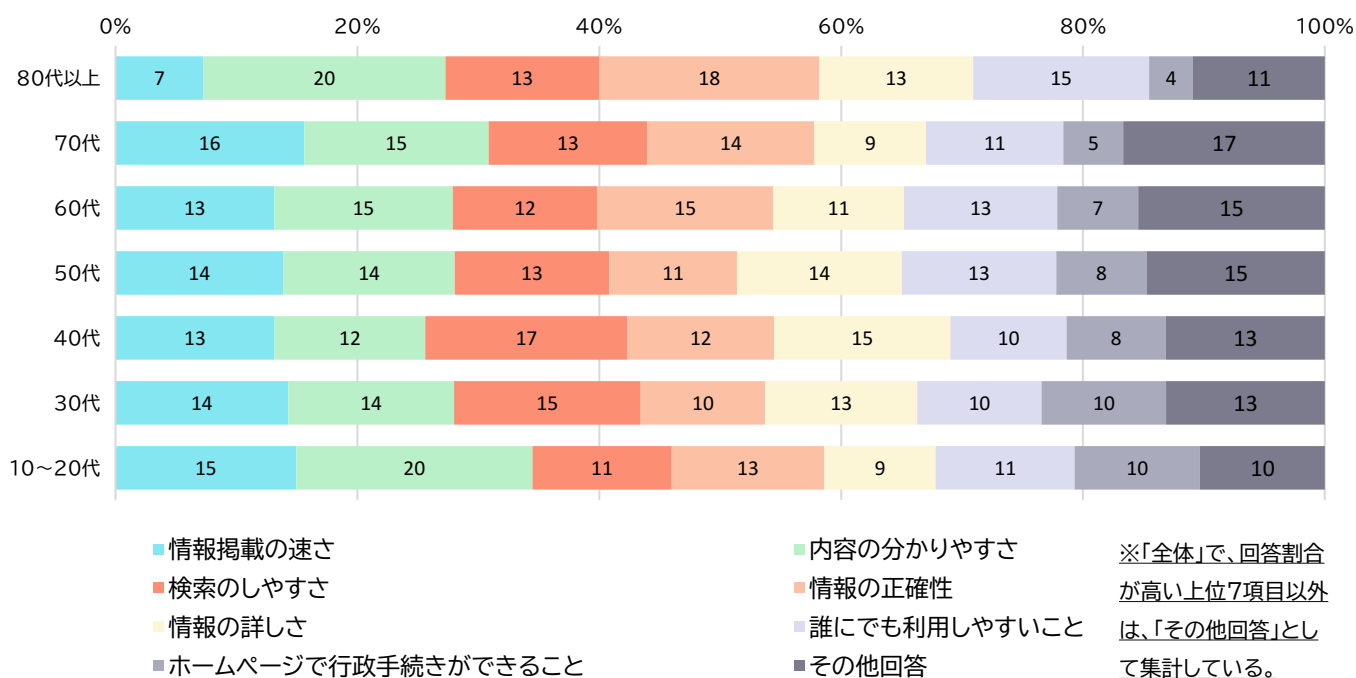
※【問12】で「日常的に利用する」、「必要な情報を得たいときにだけ利用する」と回答した人のみ

今後、市のホームページに期待することは「内容の分かりやすさ」が最も多く、次いで「情報掲載の速さ」となっている。前回調査との比較では、「誰にでも利用しやすいこと」が1.3pt増加し、「情報掲載の速さ」が1.8pt減少している。年代別では、年代間の各項目の割合は近しく、全年代を通して同様のニーズを持っている傾向にある。

【年代別】(n=1,674)



【世帯構成別】(n=1,674)



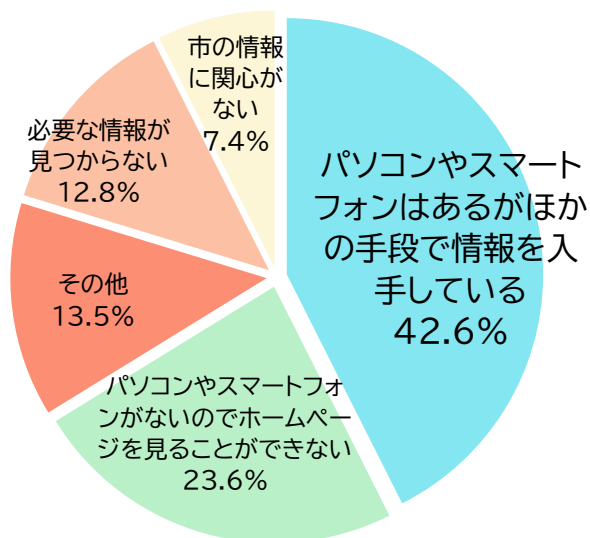
5 ホームページについて

【問17】市のホームページを利用しない理由は何ですか。(1つ)

※【問12】で「利用したことがない」と答えた人

市のホームページを利用しない理由は「パソコンやスマホはあるがほかの手段で情報を入手している」が最も多くなっている。前回調査との比較では、「必要な情報が見つからない」が3.1pt減少している。年代別では、70代以上は「パソコンやスマホがないのでホームページを見るができない」の割合が他の年代と比較し高い傾向にある。

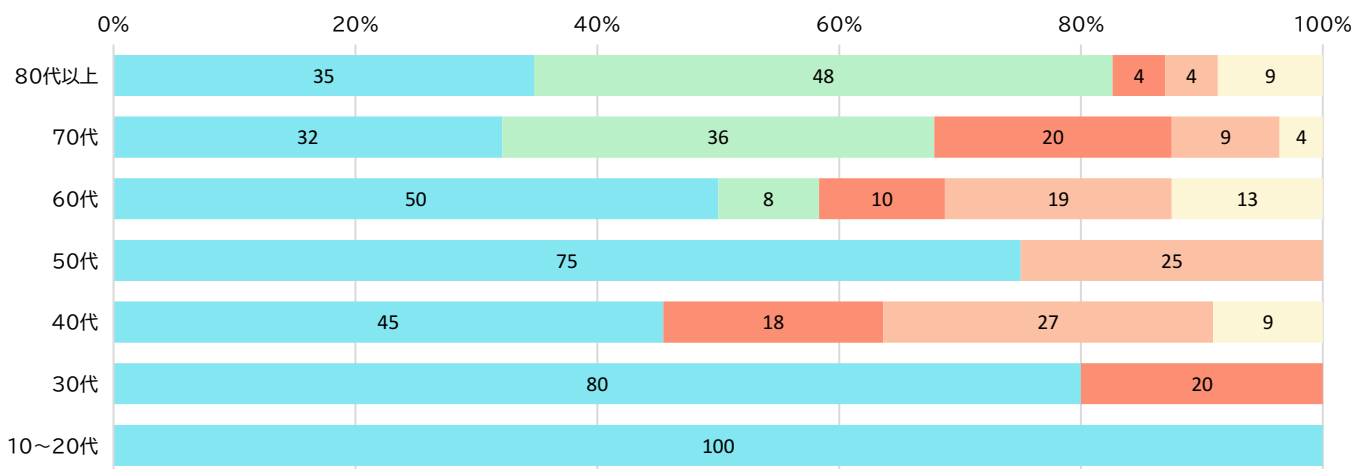
【全体】(n=148)



※その他…「スマホ・パソコンを持っているが使い方がわからない」、「広報紙で情報を得ている」など

回答項目	R3調査からの変化量
パソコンやスマートフォンはあるがほかの手段で情報を入手している	+3.5pt
パソコンやスマートフォンがないのでホームページを見るができない	▲0.9pt
その他	+1.6pt
必要な情報が見つからない	▲3.1pt
市の情報に関心がない	▲1.2pt

【年代別】(n=148)



- パソコンやスマートフォンはあるがほかの手段で情報を入手している
- パソコンやスマートフォンがないのでホームページを見るができない
- その他
- 必要な情報が見つからない
- 市の情報に関心がない

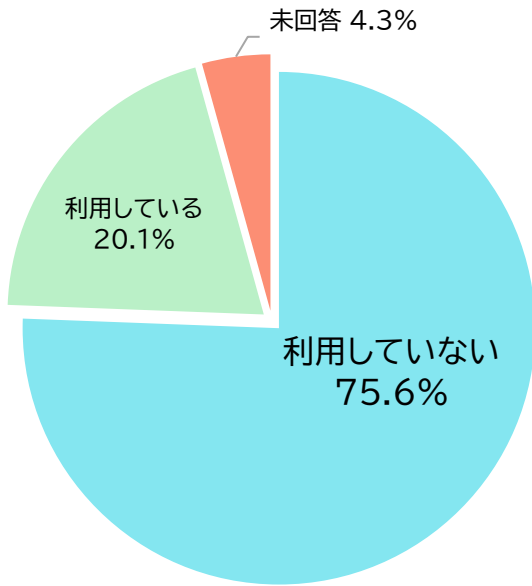
6 LINEについて

【問18】荒尾市の公式LINEを利用（友だち登録）していますか。

※紙アンケート回答者のみ(60歳以上)

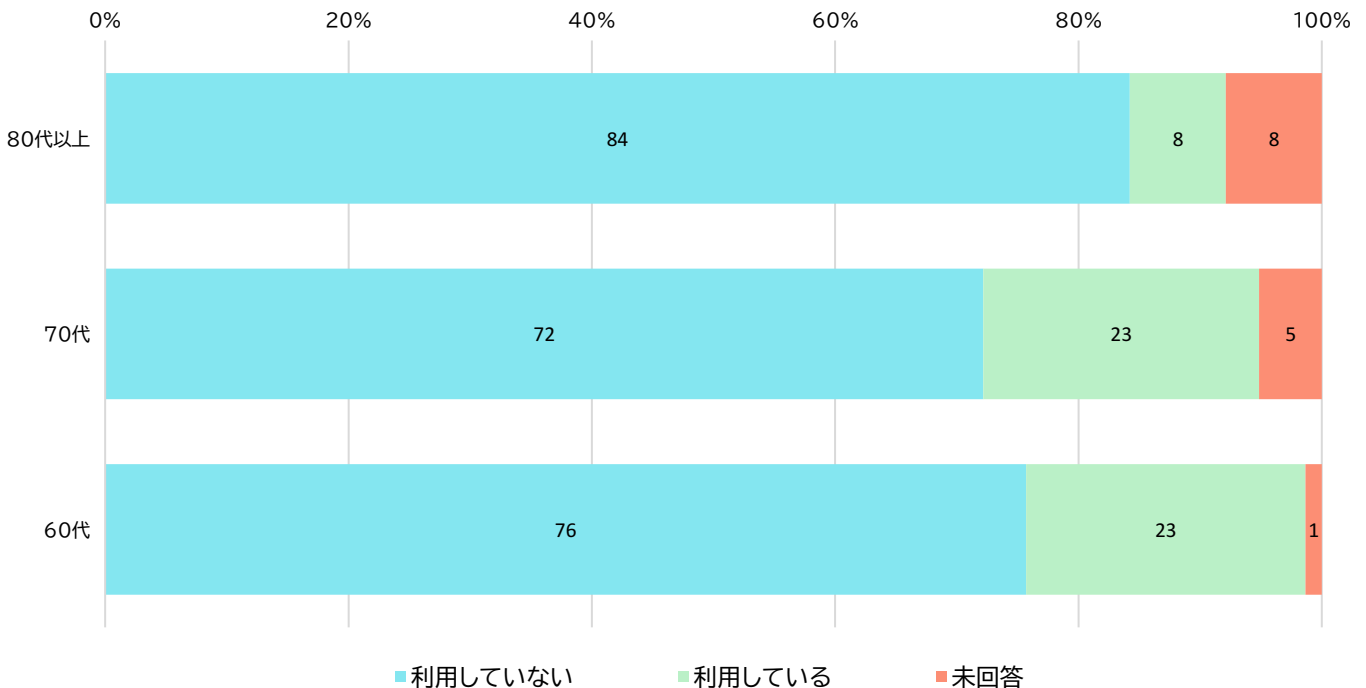
市公式LINEの利用は「利用していない」が約76%となっており、「利用している」が約20%となっている。前回調査との比較では、「していない」が7.4pt減少し、「している」が9.1pt増加している。年代別では、80代以上は「していない」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向にある。

【全体】(n=209)



回答項目	R3調査からの変化量
利用していない	▲7.4pt
利用している	+9.1pt

【年代別】(n=209)



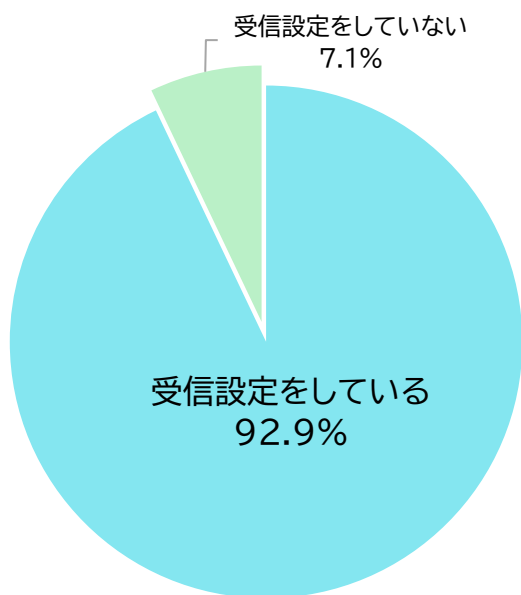
6 LINEについて

【問19】市のLINEの受信設定（必要な情報のカテゴリ選択）をしていますか。

※【問18】で「利用している」と答えた人及び、LINEからの回答者

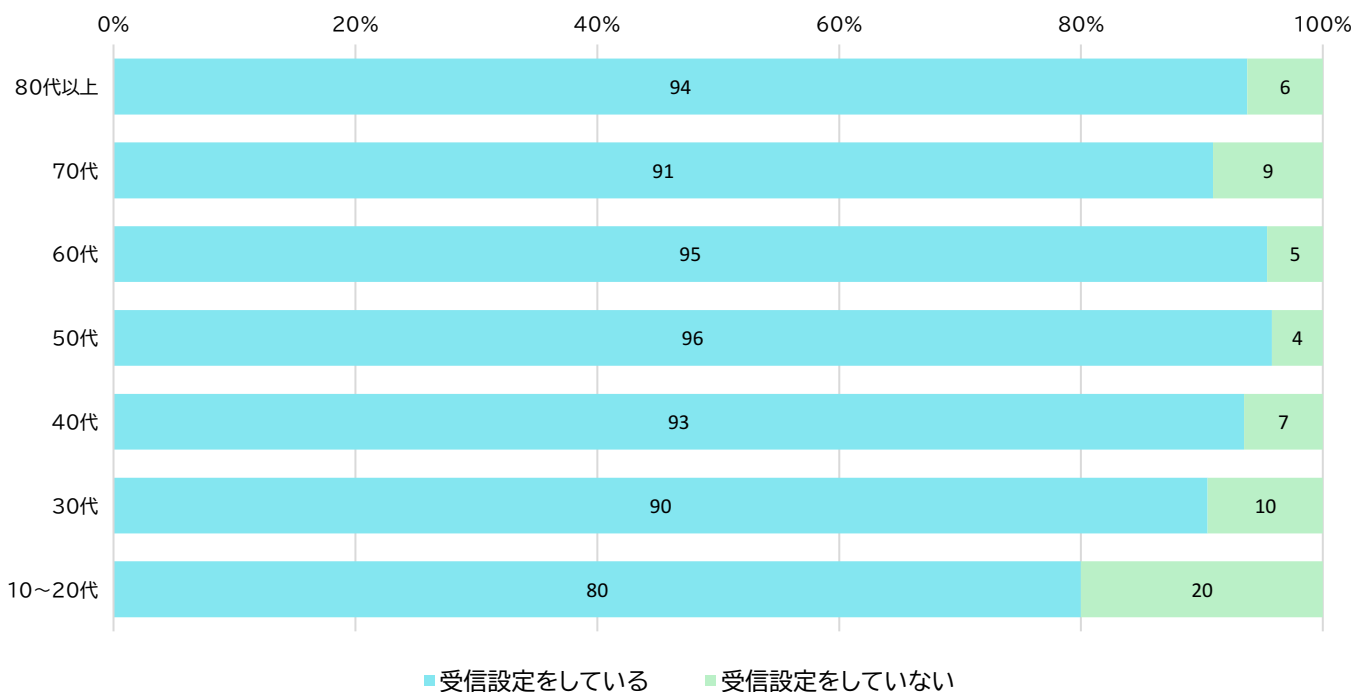
市公式LINEの受信設定は「受信設定をしている」が約93%となっており、「受信設定をしていない」が約7%となっている。前回調査との比較では、「している」が0.8pt減少し、「していない」が0.9pt増加している。年代別では、10代、20代の「している」の割合が他の年代と比較しやや低い傾向にある。

【全体】(n=509)



回答項目	R3調査からの変化量
受信設定をしている	▲0.8pt
受信設定をしていない	+0.9pt

【年代別】(n=509)



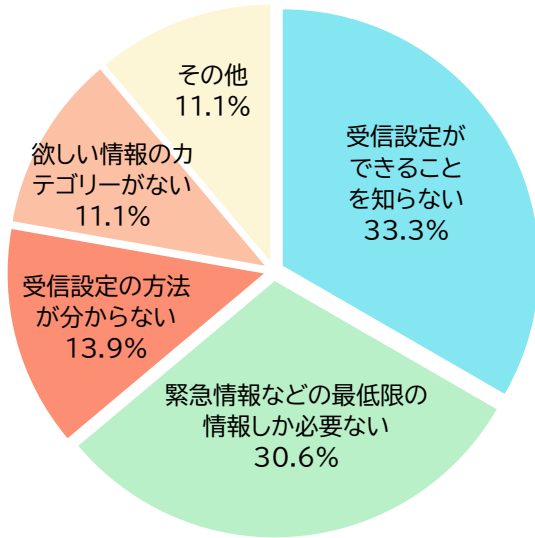
6 LINEについて

【問20】LINEの受信設定(必要なカテゴリー選択)を行わない理由は何ですか。(1つ)

※【問19】で「受信設定をしていない」と答えた人

市公式LINEの受信設定を行わない理由は「受信設定ができることを知らない」が最も多く、次いで「緊急情報などの最低限の情報しか必要ない」となっている。前回調査との比較では、「受信設定ができることを知らない」が15.7pt減少しており、「緊急情報などの最低限の情報しか必要ない」が18.4pt増加している。

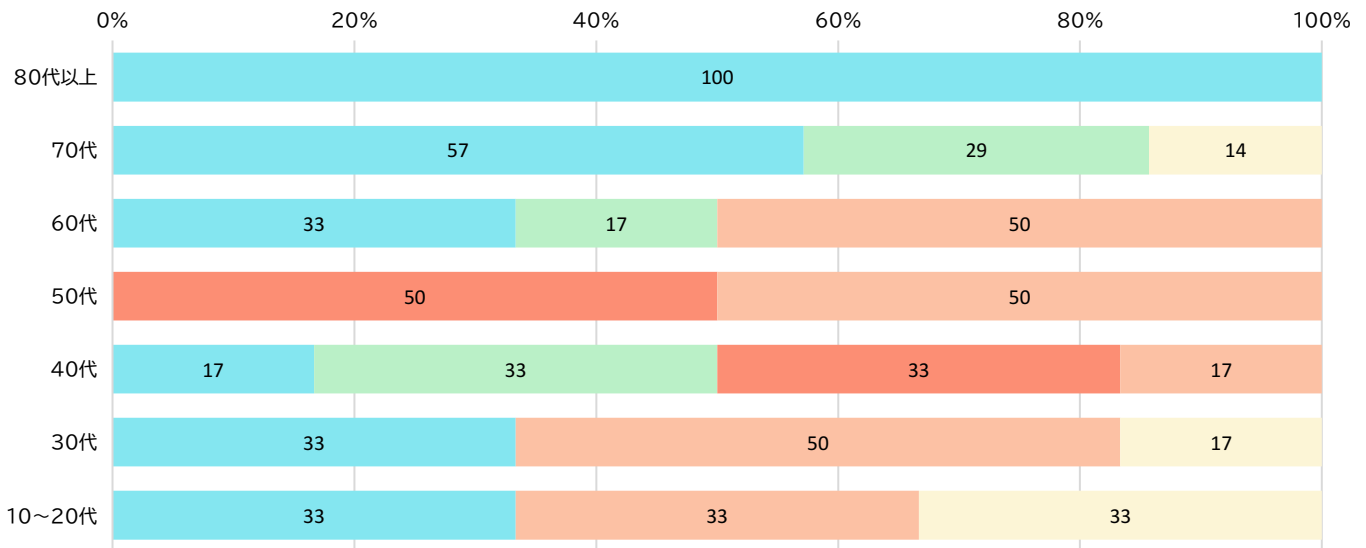
【全体】(n=36)



※その他・・・「暇がない」、「面倒」など

回答項目	R3調査からの変化量
受信設定ができることを知らない	▲15.7pt
緊急情報などの最低限の情報しか必要ない	+18.4pt
受信設定の方法が分からない	▲4.5pt
欲しい情報のカテゴリーがない	▲9.3pt
その他	+11.1pt

【年代別】(n=36)



- 受信設定ができることを知らない
- 受信設定の方法が分からない
- 欲しい情報のカテゴリーがない
- 緊急情報などの最低限の情報しか必要ない
- その他

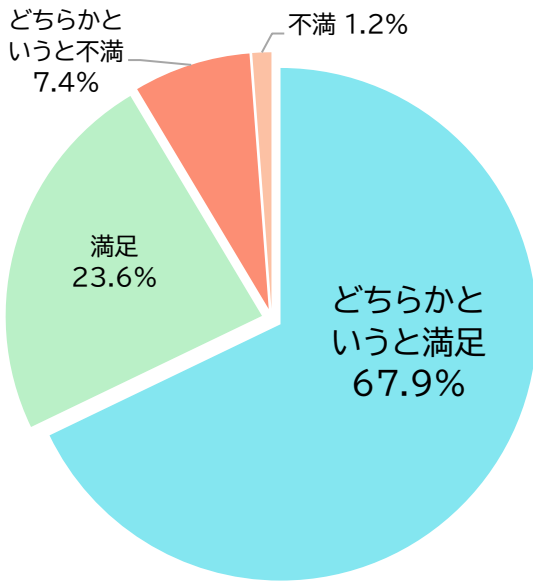
6 LINEについて

【問21】市のLINEから届く情報に満足していますか。(1つ)

※【問18】で「利用している」と答えた人及び、LINEからの回答者

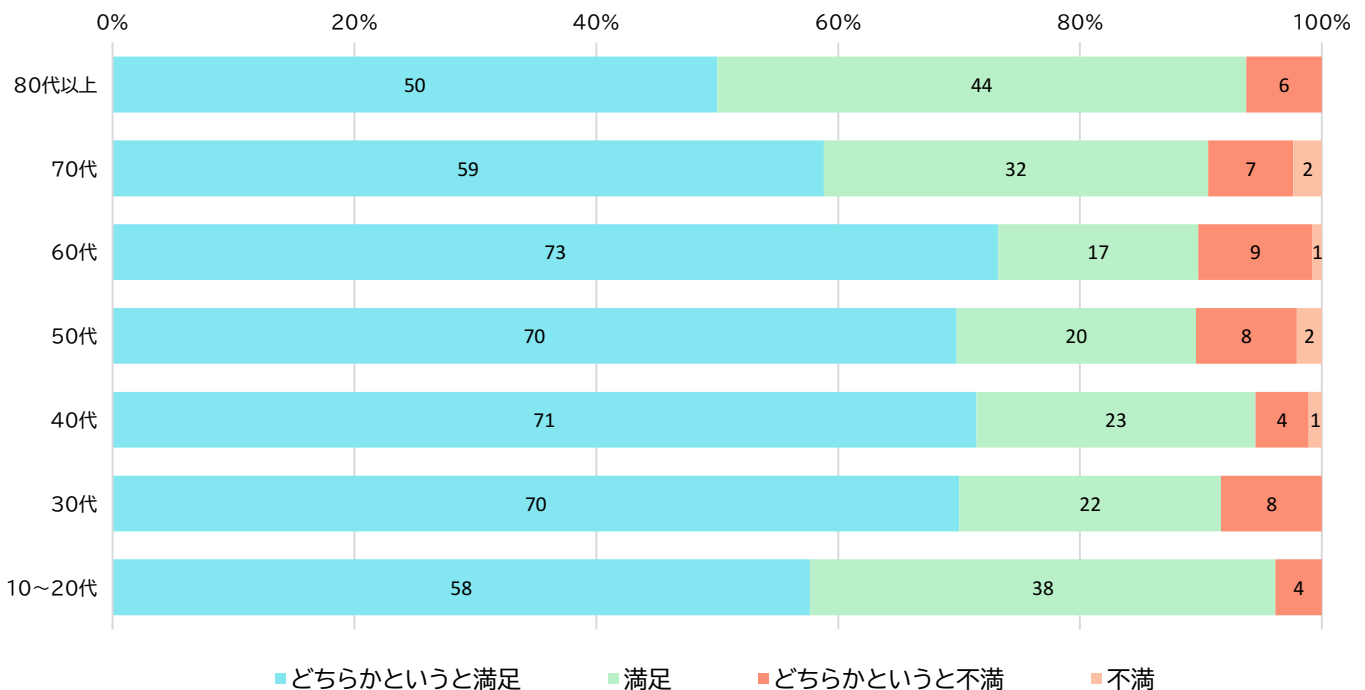
市公式LINEから届く情報の満足度は「どちらかという満足」が最も多く、次いで「満足」となっている。前回調査との比較では、「満足」が5.6pt減少し、他はやや増加している。年代別では、50代、60代が「どちらかという不満」、「不満」の割合が最も高くなってきている。

【全体】(n=509)



回答項目	R3調査からの変化量
どちらかという満足	+3.6pt
満足	▲5.6pt
どちらかという不満	+1.1pt
不満	+1.0pt

【年代別】(n=509)



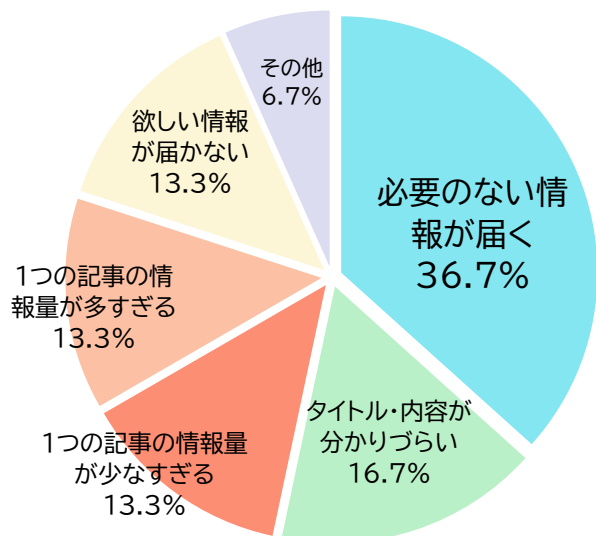
6 LINEについて

【問22】市のLINEから届く情報に不満な理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

※【問21】で「どちらか」と不満、「不満」と答えた人

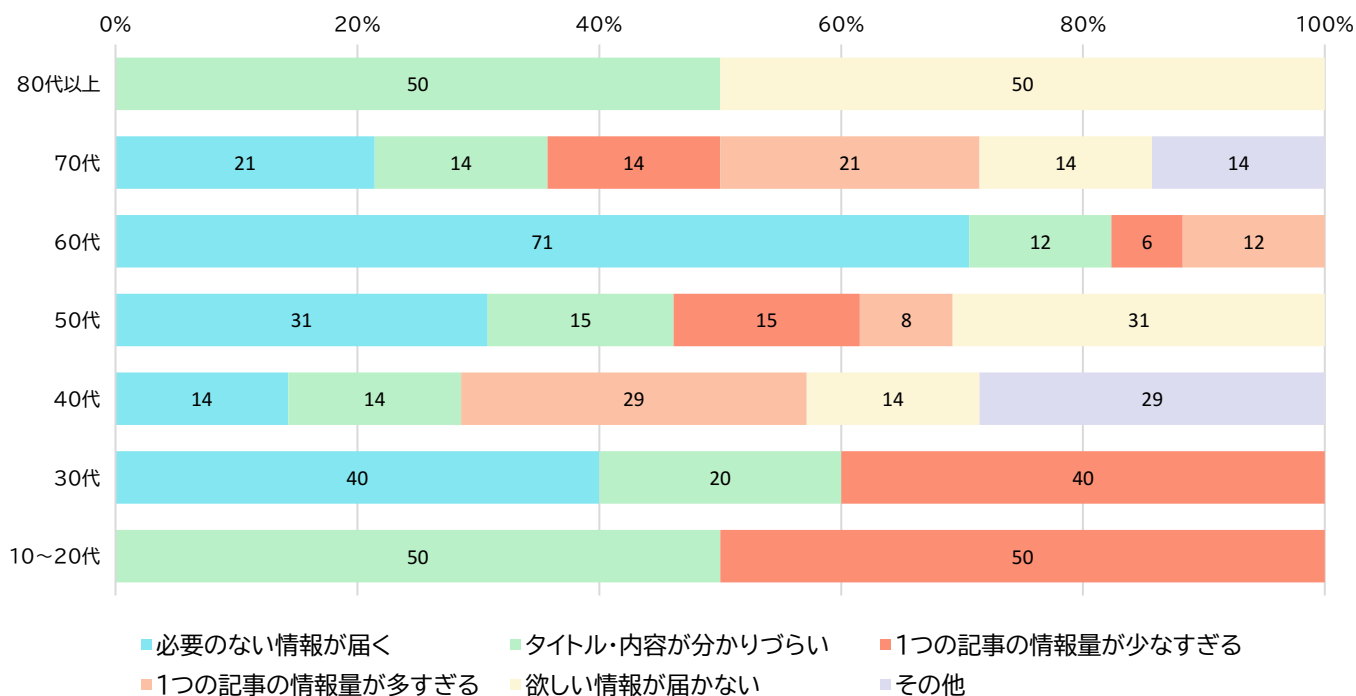
市公式LINEから届く情報に不満な理由は「必要のない情報が届く」が最も多く、次いで「タイトル・内容が分かりづらい」となっている。前回調査との比較では、「必要のない情報が届く」が10.2pt増加し、「欲しい情報が届かない」が20.5pt減少している。

【全体】(n=60)



回答項目	R3調査からの変化量
必要のない情報が届く	+10.2pt
タイトル・内容が分かりづらい	+0.5pt
1つの記事の情報量が少なすぎる	+5.9pt
1つの記事の情報量が多すぎる	+1.5pt
欲しい情報が届かない	▲20.5pt
その他	+2.3pt

【年代別】(n=60)



6 LINEについて

【問22-2】どのような情報の配信を希望しますか。(自由記述)

※【問22】で「必要な情報が届かない」と回答した人のみ

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- 子ども向けイベント習い事ボランティア事件事故不審者
- 燃えるゴミとリサイクルは別けてラインが来るようにしてほしい
- 市や議会の行事予告
- 荒尾市で開催されるイベント
- 沿岸道路の進捗状況等情報が欲しいです。
- イベント
- 市が関わっている情報だけではなく、市内で開催される様々なイベントの情報など。

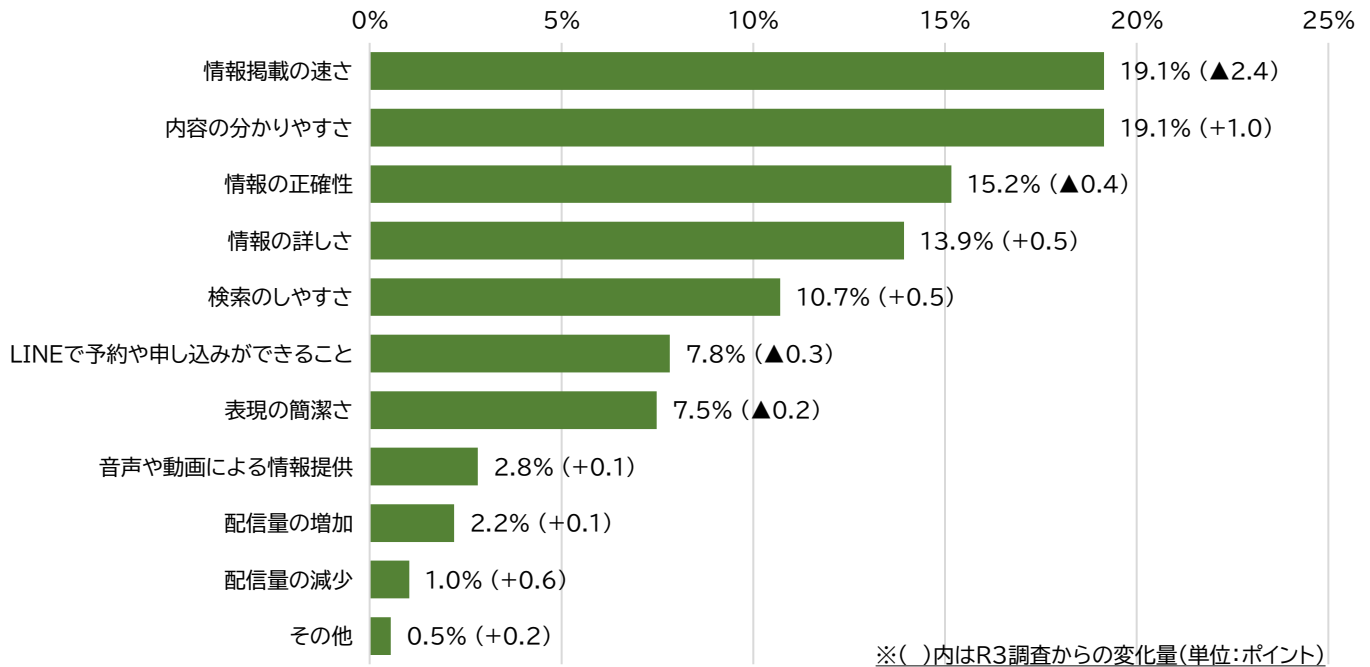
6 LINEについて

【問23】今後、市のLINEに期待することは何ですか。(あてはまるもの全て)

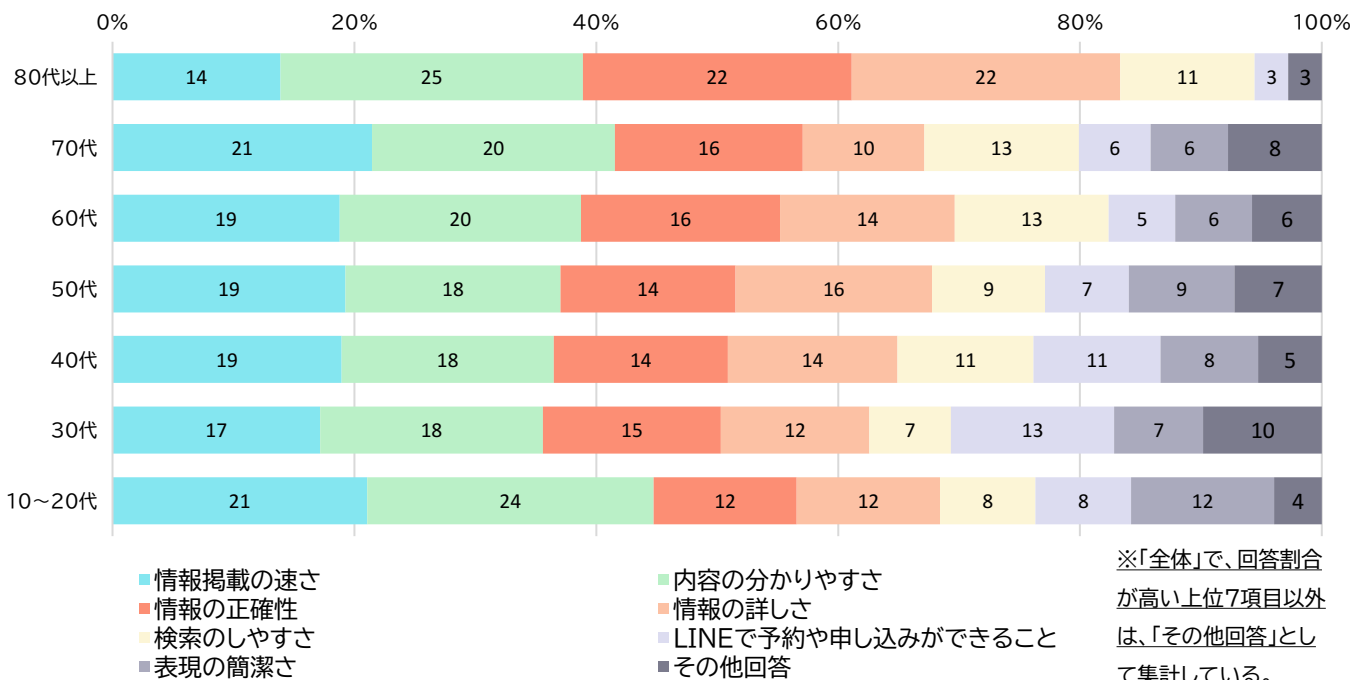
※【問18】で「利用している」と答えた人及び、LINEからの回答者

今後、市公式LINEに期待することは、「情報掲載の速さ」と「内容のわかりやすさ」が最も高くなっている。前回調査との比較では、「情報掲載の速さ」が2.4pt減少し、「内容のわかりやすさ」が1pt増加している。年代別では、40代以下は「LINEで予約や申し込みができること」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向にある。

【年代別】(n=1,457)



【世帯構成別】(n=1,457)



6 LINEについて

【問23-2】どのような手続きをLINEで利用したいですか。(自由記述)

※【問23】で「LINEで予約や申込ができること」と回答した人のみ

原則、原文のまま記載しています。

本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

手続き関係

- ・ 住民票の異動届出
- ・ 例えば、マイナンバーカード作成の時、役所で順番カードを取り、待っている時間が長い。事前に予約しておくで安心して手続きができます。
- ・ 大型ごみの収集予約
- ・ 粗大ゴミの予約やゴミ出し日のアラートが来ると嬉しいです！
- ・ 行政の手続きなど
- ・ 確定申告
- ・ 確定申告の手続き予約や待機時間の把握
- ・ 国保検診手続等
- ・ 窓口の予約。対面で無いと理解できない事があるから。バスの予約の都合上待ち時間が長いと困る。
- ・ 窓口対応
- ・ 窓口手続きや窓口予約
- ・ 証明書の発行など
- ・ 証明書発行や窓口の手続き全般
- ・ 書類の申請など
- ・ 学校体育館の利用許可をとって、お金を払いに行く手間、市民農園の手続きなど、そろそろデジタル化して欲しい。
- ・ 子育て相談の予約ができるのが助かります。小さい子供がいるので、寝かしつけてからの夜の時間に予約や申し込みができるのが助かります。子供が小さいので開庁時間に電話するのが難しい時があるので。
- ・ 母子手帳交付
- ・ 出来るなら手続き関係の問答が出来るようになればいいと思う

催し物関係

- ・ イベント
- ・ 文化センターイベントなどの予約
- ・ 先日の梨の花ウォークの参加申し込みやイベントの申し込みに便利

6 LINEについて

【問23-2】 つづき

※【問23】で「LINEで予約や申込ができること」と回答した人のみ

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- 子育て関連、市が開催するイベント
- スマートフォンは外出先 職場にも持って行くので、気になっていたイベント等の予約 申し込みを隙間時間にできる。職場の休み時間なども。広報誌は全体を目を通すので、後から手軽にできるほうがいい
- 受けたい受講など
- 講演会
- 講習の参加申し込み
- 講座の予約
- 市の検診
- 市の健康診断
- 予防接種
- 接種の予約
- ワクチンの予約
- 3月いっぱい終了したコロナワクチンの接種可能な病院、日時などが一覧表になってそこからクリック予約が出来たら良かったなあと思いました。予約を取るのに指定された時間に電話してもなかなか取れず苦労したので。
- 介護サービスなどの相談

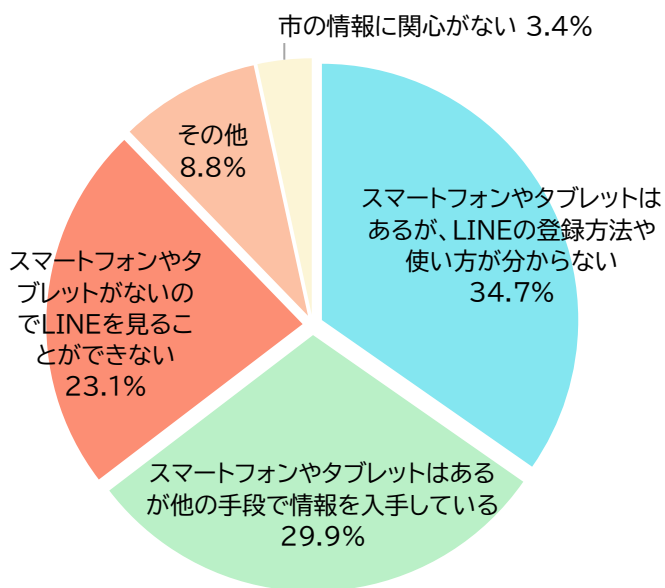
6 LINEについて

【問24】<【問18】で「利用していない」と答えた人のみ>市のLINEを利用しない理由は何ですか。(1つ)

※【問18】で「利用していない」と答えた人

市公式LINEを利用しない理由は「スマホやタブレットはあるが、LINEの登録方法や使い方が分からない」が最も多くなっている。年代別では、80代以上は「スマホやタブレットがないのでLINEを見ることできない」の割合が他の年代と比較し高い傾向にある。

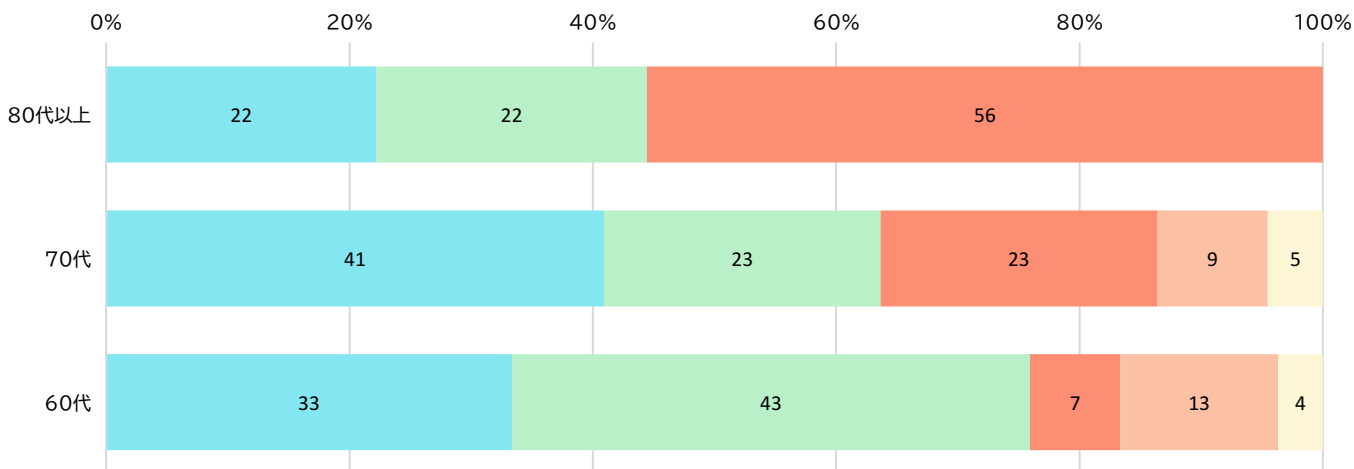
【全体】(n=147)



※その他…「広報あらかだけの情報で十分」、「LINEの危険性」など

回答項目	R3調査からの変化量
スマートフォンやタブレットはあるが、LINEの登録方法や使い方が分からない	+3.2pt
スマートフォンやタブレットはあるが他の手段で情報を入手している	+4.0pt
スマートフォンやタブレットがないのでLINEを見ることできない	▲4.9pt
市の情報に関心がない	▲1.5pt
その他	▲1.0pt

【年代別】(n=147)



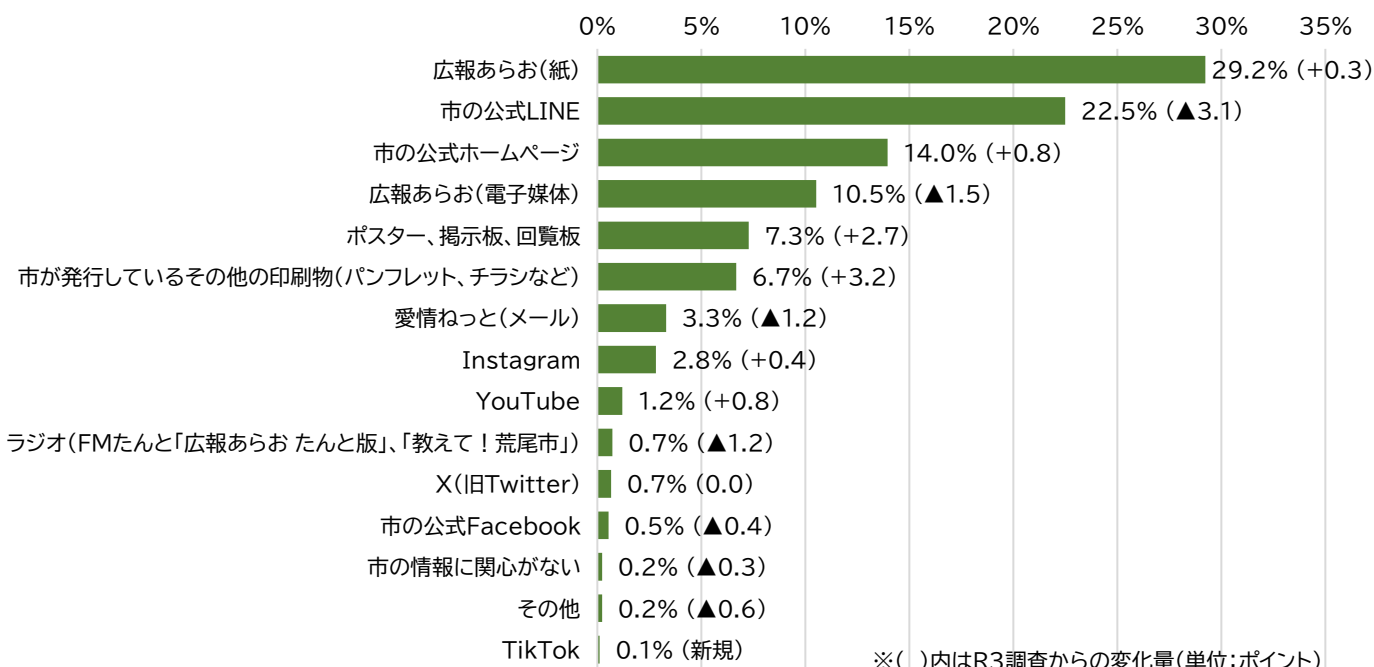
- スマートフォンやタブレットはあるが、LINEの登録方法や使い方が分からない
- スマートフォンやタブレットはあるが他の手段で情報を入手している
- スマートフォンやタブレットがないのでLINEを見ることできない
- その他
- 市の情報に関心がない

7 これからの広報活動について

【問25】今後、市からどのような方法で情報発信をしてほしいですか。(3つまで)

今後、市からどのような方法で情報発信を希望するかは「広報あらお(紙)」が最も多く、次いで「市の公式LINE」となっている。前回調査との比較では、「市が発行しているその他の印刷物(パンフレット、チラシなど)」が3.2pt増加し、「市の公式LINE」が3.1pt減少している。

【全体】(n=1,663)

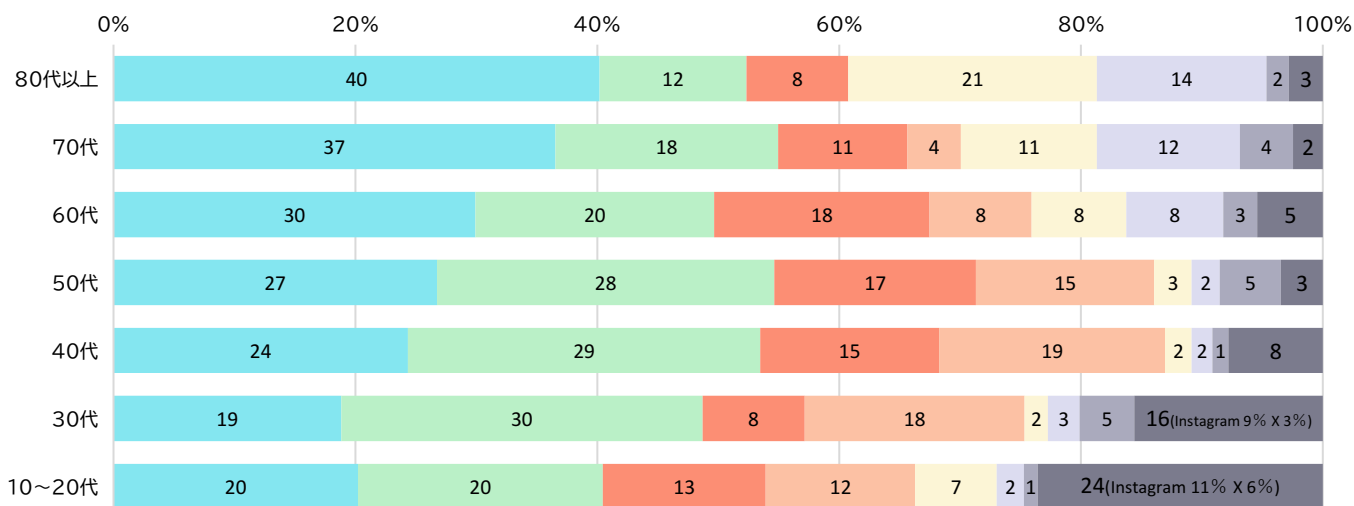


7 これからの広報活動について

【問25】つづき

年代別では、70代以上は紙媒体による情報発信を望む傾向にあり、60代以下は年齢層が低くなるにつれ、電子媒体やSNSによる情報発信を望む傾向にある。世帯構成別では、子育て世代は「市の公式LINE」や「広報あらお(電子媒体)」の割合が他の世帯構成と比較し、やや高い傾向にある。

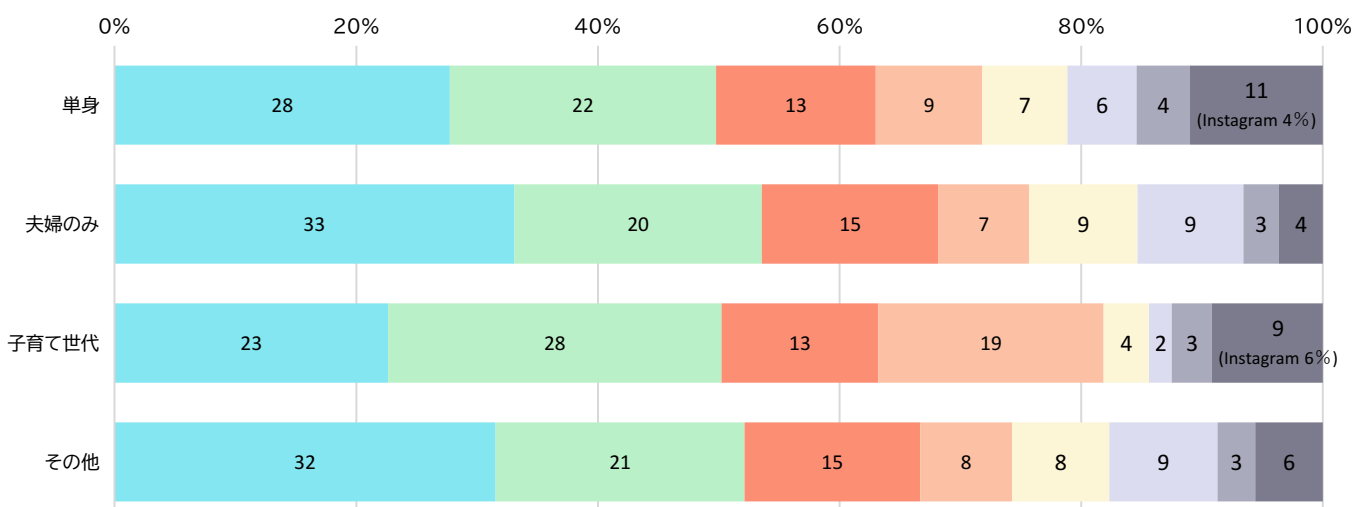
【年代別】(n=1,663)



※その他回答の10~30代では「Instagram」、「X(旧Twitter)」の割合が他の年代と比較しやや高い傾向あり。

※「全体」で、回答割合が高い上位7項目以外は、「その他回答」として集計している。

【世帯構成別】(n=1,645)



※その他回答の単身世帯及び子育て世代では「Instagram」の割合が他の世帯構成と比較しやや高い傾向あり。

※「全体」で、回答割合が高い上位7項目以外は、「その他回答」として集計している。

7 これからの広報活動について

【問26】市の広報活動について（自由記述）

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

広報活動全般について

- 公式ホームページ、LINE、防災無線など 広報手段も増えて、情報を素早く入手できるようになった。
- お疲れ様です。広報活動が多くのメディアで実行するようになり、担当者は大変だなーと思います。2つか3つに絞って、内容を洗練していった方がいいと思います。
- どの年齢も安心して暮らしていける情報をください。
- 高齢者のスポーツ、趣味等の情報をもっと知りたい。
- 近隣市町のイベントも出来れば教えてほしいです。
- 広報のデジタルへの切り替えは大賛成です。切り替えた人には何か特典をつけるとかしたら切り替えが推進されるのではないのでしょうか？(シティーモールで使えるデジタルクーポンとか)とかどうでしょうか？
- 情報はスピード化、共有性、一般的表示(手段は多い方が良い)、職員の私物化、特殊性については市政に対し市民サービスに欠ける。教育方針の変更を希望する。
- 真に役立つ情報を最速で的確な内容で提供してほしい。
- 生活に関する情報、ごみ出し、リサイクルなど、その他、市の変更になった点や詐欺に関する事など、高齢者の生活にやさしい情報がほしい。
- 日頃から市民のために頑張っていただきありがとうございます。どの年代の方にも荒尾市の情報が行き渡るようにシステム構築して下さることを期待します。
- 民間のノウハウを積極的に取り入れ、若者が興味を持てるようにした方がいいと思います。
- 小さなイベントでも掲示して欲しい。
- 荒尾市近郊でおきた事件や事故や火災などの情報が知りたい！
- いろんな方々の声を、真摯に受け止めながら現状にマンネリ化せず進化して行って欲しいですね。
- 私の知り得る方法で自分に利用出来る方法で行政の広報から新聞その他のメディアから読み取っているつもりです。高齢者だから何にも知らないということにならないように自分自身気を付けて行きたいと思います。
- 荒尾市の良さをもっとPRして活力ある街になって欲しい。イベント催し物等多くのひとが集まる様な物を考案。
- 今後の課題になるであろう空き家の問題や現状情報の発信、耕作放棄地の活用の情報、農地縮小を検討している世帯へのアドバイスや支援の状況の情報も掲載頂きたい。

7 これからの広報活動について

【問26】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

【広報あらお】記事の内容について

- ・ 外食、イベントなど詳しく載せて欲しい。
- ・ 幅広い情報には、大変なところもあることはわかるが、情報に偏った部分があるように感じている。幅広い世代や健常者だけでなく、障害を持った人たちも楽しめる情報誌にしてほしい。
- ・ 幅広い人に読んでもらうためには、それぞれの世代から読みやすいように、例えば高齢者のためであったらその情報を集めてある程度近い年齢の人が編集したらどうでしょうか。情報として何がどういう表現で必要か理解しやすいのでは。それは子育て世代にとっても同じです。料理などはいりません。情報を詳しく丁寧に載せるということの方が大切では。他印刷物も同様です。出さなきゃいけないから出すような情報はいりません。経費の無駄です。雑誌を求めているのではないのです。「あらおMADE」は必要ありません。それこそネットで十分なのでは。
- ・ 毎回同じ案内は不要と思います。読者に見やすい今月のポイントとなる点をアピールする(行政、イベント、地域行事など)子育て世代向けの記事や教養面の記事もgood。読んでいて楽しくなる記事もいいと思いますネ、特に若者の世代に訴える言葉などもどうでしょうか。荒尾に住んでいて良かった！！と思える未来構想。海陽地区の開発に向け市民の思いが一つになる様な明るい取組みも必要でしょう。少しでも人口増につなげることが出来ればいいですネ。「若者ファースト、子どもファースト、子育てファースト、住み良い荒尾」をめざして行きましょう。今の大人社会はエゴが、まかり通っている様です。広報活動とても大変な御努力かと思えます。頑張ってください。失礼しました！！
- ・ 荒尾市について改善したほうがいいと思うところなどを募集して、意見箱みたいに一般市民のかたの声をのせるページをつくったらどうかと思います。
- ・ 市役所で働いている人などの活躍を載せて、もっと市政などに参加しやすいものにしたらいいのになと思う。
- ・ 市政への意見のページ
- ・ 小学校や中学、高校の情報以外にも幼稚園や保育園の情報も載せてほしい。
- ・ ちょっと一言コーナー質問等、窓口には敷居が高いと感じたりして行けないため検討して欲しい。
- ・ 市役所の業務を一般市民がどのように利用できるかどのような事を相談出来るかを広報で知らせて欲しい。
- ・ 海陽地区の進み具合やスマートシティの内容など広報して欲しい。
- ・ 各部署で取り組んでいること スマートシティの現状など詳しく知りたいです。

【広報あらお】視覚的な要素について

- ・ いつも、広報誌は見やすく読みやすいと思います。
- ・ 結局は、紙がみやすい。
- ・ 文章量を減らして見やすくして欲しい。

7 これからの広報活動について

【問26】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- 広報あらお、カラーの写真が多くなって読みやすくなった気がします。意外と市の情報を得られる機会は貴重なのでこれからも頑張ってください。
- 広報がオールカラーになった当初は印刷代が高くなってたよね!? これって税金から使われてるよね!?!? 少しでも税金安くなったが良くない!?とっていました。実際どうなのでしょう? 今はオールカラーが全ページ目を通しやすいので以前より見ますけど。。
- 表紙の写真が昔より良くなっているので、見る意欲が上がる。
- 新しい広報になってからカラー化してみやすく又情報もずい分多くなった気がします。広報をみるのがとても楽しいです。情報あつめなど色々大変とは思いますがこれからもみる事で知る機会が増えていく事を楽しみにしています。

【広報あらお】現在の配送について

- 地域では、高齢化が進んで、紙媒体の配布する人の負担が大きくなっています。
- 広報紙の配布、回収が面倒くさい。
- 全世帯に広報あらお配布をお願いします。
- 全員に郵送してくれたらいいんですが。
- 町内会経由の配布はやめてほしい。
- 広報あらおは地域の自治会で配布されるので、自治会に参加していない世帯で希望する世帯にもきちんと届けられるシステムが欲しい。

【広報あらお】媒体・今後の配送について

- 電子媒体環境のない方の為に閲覧板などでの閲覧程度で良いのではと思う。
- 電子媒体を扱えない高齢者には、やはり広報あらお(紙)が必要かも?
- 紙媒体の広報はまだしばらくは必要だと思います。高齢者がスマホやPCを不自由なく使えるようになってからだと思います。
- デジタル化は分かりますが、最小限度今まで通り広報あらおは続けて欲しい。頑張ってITについていこうと思いますが無理があります。入りすぎると怖い部分があるので効率化もあるでしょうが検討欲しいと思います。
- ペーパーレス化が進んでいるので広報(紙)は無くなっていくと思いますが、お年寄りが多いので未だ紙と電子化の両方必要で大変と思いますがお年寄りにも電子化が浸透していけるようにじっくり時間をかけて浸透させて欲しいです。

7 これからの広報活動について

【問26】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- ・ 私は高齢者ですが、何とか電子端末を使うことができています。できない方も多いと思いますので、やはり紙媒体の広報も必要かと思います。荒尾市民のために今後ご尽力よろしくお願いたします
- ・ 年寄りには電子画面は不得意です。紙媒体の方がありがたいです。
- ・ 高齢者にパソコンやスマホでの広報活動は無理がある。特に高齢者は確認することも多いので紙で残せる方がよい。
- ・ タブレットを使いこなせるとは限りません。現にスマホ自体を持たない人もいます。紙媒体の費用削減したい事はわかりますが、別な部分での費用削減を考えてください！！紙媒体でしか情報を得る事が出来ない人がいる事を忘れないでください！！
- ・ 紙媒体以外での情報発信が増えて、分かりやすく便利になりました。でも、祖父祖母にとっては、やはり紙での広報が必要だと思います。
- ・ スマホを持っている世代などはLINEやホームページで、それ以外の方たちは紙のあらお広報を配るようになってほしいなあと思います。ペーパーレスにもなる。
- ・ 広報「あらお」は、廃止の方向に進み、必要な事を必要な人に、LINEでお知らせする。もう、発刊の必要なし！
- ・ 広報あらおは一通り目は通すけど、必要なのは、ごみ・リサイクル年間カレンダーと荒尾市防災カレンダー、確定申告の日時、コロナなど接種の日時だけ。回覧板も必要なのか？と思う。旅行など留守の時は困るし、スーパーなどに広報あらおなど自由にお取りくださいというわけにはいかないのかな？と思う。若い人は見ていないのではないかな？ほしい人は絶対に読むだろうし高齢者はヘルパーさんに頼めばと思う。経費節減にもなるのでは？と思う。広報あらおと回覧板で回すのを一緒に郵便受けに入れてもらうといいと思う。廃止にはできないだろうから。

ホームページについて

- ・ ホームページもリニューアルして楽しそうではありますが、もう少しコンパクトでもいいのでは？と思いました。
- ・ 市のホームページは、自分が見たい部類が出てこない時があった。

LINEについて

- ・ LINEで届く燃えるゴミなどのお知らせですが、燃えるゴミの日と燃えないゴミの日の区別が文字だけだと分かりにくいので、絵文字をつけたりしていただきたいです。
- ・ SNSの時代ですね。LINEでちょっとしたお尋ねなどもできたら良いと思います。
- ・ イベント情報をマメにLINEしてほしい。先日TVのニュースで荒尾駅前の大石たばこ店の改装の件も知りました。
- ・ 今LINEで情報を取得してはいますがもっと詳しく分かりやすい様に送って欲しい。

7 これからの広報活動について

【問26】つづき

原則、原文のまま記載しています。
本調査と関係のない内容や、内容が不明確なものに関しては記載していません。

- ・ 情報が電子媒体で確認でき便利です。LINEや愛情ねっとを見るのを習慣にしています。
- ・ LINEは的確に情報を送ってもらうのでよかったと思います。

Instagramについて

- ・ 地域起こし協力隊活動を知らしめ、地域発展に繋がると期待でワクワクしています。
- ・ インスタはターゲットが不明確。移住定住狙いなら市民のフォロワーでなく、市外のフォロワーを増やすべき。人件費と広告費に見合っていない。

その他

- ・ 各地区に設置してある防災スピーカーで夕方の情報は役に立っていますが、簡潔な行政情報の告知もいいのでは？
- ・ 公民館のマイクでの呼びかけ又は案内を増やしてほしい。
- ・ 私の家の近くの坂下まで広報車が来るようですが距離があるため内容が聞き取れません。
- ・ 車で何かを放送しながら、移動されてますが、ハッキリ聞こえません。道路沿いの方々はよいのかも知れませんが、田舎の方では、周知出来ていないと思います。
- ・ アンケートは10問ぐらいまで。
- ・ 何度やり直しても再度アンケートにお答え下さいとなり送信されなかった！沢山意見も毎回書き込んで大変だったのに！今時のアンケートであり得ないお粗末これが荒尾市の実力TikTok など活用して対外的に働きかけるべき。
- ・ このような、アンケートの結果をよりよい改善の為に役立てて欲しい。